

調布市立第七中学校普通教室改修工事

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A - 00	表紙・図面リスト	-	E - 01	電灯コンセント設備平面図	1:100
A - 01	特記仕様書 1	-	E - 02	弱電設備平面図	1:100
A - 02	特記仕様書 2	-	E - 03	空調設備（電源）平面図	1:100
A - 03	特記仕様書 3	-	M - 01	機器表・系統図（撤去・新設）	1:100
A - 04	案内図・配置図	S=Non scale 1:600	M - 02	1階空調設備平面図（撤去）	1:100
A - 05	平面図	1:100	M - 03	1階空調設備平面図（新設）	1:100
A - 06	展開図 1	1:100	M - 04	1階給排水設備平面図（撤去・新設）	1:100
A - 07	展開図 2	1:100			
A - 08	展開図 3	1:100			
A - 09	建具表	1:50			
A - 10	天井伏図	1:100			
A - 11	家具詳細図（参考）	1:30			
A - 12	黒板・掲示板詳細図（参考）	1:50 1:30 1:10 1:5			
A - 13	パーティション詳細図 1（参考）	1:50 1:5			
A - 14	パーティション詳細図 2（参考）	1:6			
A - 15	仮設計画図（参考）	1:300			

設計図承認日 令和 8 年 6 月 4 日



特記仕様書

第1編 共通事項

第1章 工事概要

1.1 工事件名

調布市立第七中学校普通教室改修工事

1.2 工事場所

調布市八雲台2丁目16番地1

1.3 工事内容

- 1階図書室・図書準備室の普通教室化
- 上記に伴う電気設備改修及び機械設備改修

1.4 工期

- 週休2日制工事の適用については以下による。

本工事は、現場閉所により実施する「週休2日制工事」である。
週休2日を前提に労務費を補正し、予定価格を算出しているため、週休2日が達成できなかった場合は労務費補正分を減額変更する。
詳細は東京都「財務局「週休2日促進工事」実施要領」及び「調布市週休2日制工事実施要領（以下、「調布市要領」）」を参照すること。
ただし、「調布市要領」における「経費」は「労務費」に読み替えるものとする。
なお、交代制を行う場合は、着手日までに調布市へ必ず申し出ること。
また、実施方式は途中で変更することはできない。この場合は、東京都「財務局「週休2日交替制工事」実施要領」及び「調布市要領」を参照すること。
なお、「調布市要領」は、調布市ホームページから、東京都財務局の各要領は、東京都財務局建築保全ホームページからそれぞれ入手できる。

- 猛暑による作業不能日数について
 - 本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

作業不能日数：20日間
 - 上記(7)は、環境省が公表する「関東地方_東京_府中地点」におけるWBGT値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去5年分（2021年（令和3年）～2025年（令和7年））について本工事の工期に対応する期間（「東京都の休日に関する条例」第1条第1項に規定する東京都の休日及び夏季休暇（3日）を除く。）において、8時から17時の間にWBGT値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものの5年分を平均したものを。
 - 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する「関東地方_東京_府中地点」におけるWBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））が(1)の日数から著しく乖離した場合には受注者は発注者へ工期の延長に関する協議を申し出ることができる。

第2章 一般事項

調布市庁舎は、「IS014001」に基づいた環境マネジメントシステムを構築し、市庁舎内の組織が行う事業活動における環境配慮及び環境保全に関する行動を適切に実行することとしている。

この取組みには受注者の協力が不可欠であり、工事関係者の業務管理や施工管理などにあたっては、本制度の趣旨の理解に努め、地球環境保全に十分配慮するものとする。

2.1 適用範囲

- この特記仕様書は、東京都建築工事標準仕様書、東京都電気設備工事標準仕様書、東京都機械設備工事標準仕様書（令和8年版 以下「標準仕様書」という）に定めのない事項又はこれにより難い事項を定める。
この特記仕様書に記載されていない事項は、上記の標準仕様書により施工する。
- 本工事の設計図書等の優先順位は、次による。

1 質問回答書 2 特記仕様書 3 設計図 4 標準仕様書 とする。
- この工事は、設計図書に従い施工するが、設計図書に明示されていない事項でも工事の性質上当然必要なものは、監督員の指示に従い施工する。
- 本特記仕様書の各項目の●については、本工事において適用されるものであることを示す。

2.3 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置等

- 労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。
- 上記の指名に基づき、労働安全衛生法に規定する次の事項を労働基準監督署長に報告した場合は、速やかにその写しを監督員に提出する。

ア 統括安全衛生責任者
イ 元方安全衛生管理者

2.5 工事の入札等について

入札（又は見積書の提出）にあたっては、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。

第4章 施工区分

4.2 工事の施工に伴う光熱水費の取扱い

本工事の施工に伴う光熱水費の支払は、次による。
●発注者の負担とする。

第2編 工種別事項

第1章 総 則

第1節 共通事項

- 1.1.3 現場代理人、監理技術者、監理技術者補佐及び主任技術者（標準仕様書1.1.1.5）
 - (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）第26条第3項の規定により専任が求められる監理技術者等は、次の期間については工事現場への専任を要しない。
 - 工事用地等の確保が未了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全的に一時中止している期間
当該期間については、請負契約締結後、監督員からの工事の全部中止の通知により定める。
 - 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター、発電機・配電盤等の電機品等の工場製作を含む工事全般について、工場製作のみが行われている期間
当該期間については、請負契約締結後、監督員と協議の上、書面において定める。
なお、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作が可能である場合は、同一の監理技術者等がこれらの製作を一括して管理することができる。
 - 工事完了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間
 - (3) 専任の監理技術者等が、技術研さんのための研修、講習、試験等への参加、休暇の取得、その他の合理的な理由で短期間工事現場を離れることについては、適切な施工ができる体制を確保するとともに、その体制について、元請の監理技術者等の場合は発注者、下請の主任技術者の場合は元請又は上位の下請の了解を得ていることを前提として、差し支えない。

1.1.4 官公署その他への届出手続等

- (1) 工事の着手、施工及び完了に当たり、関係法令等に基づく官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を直ちに行う。
- (2) (1)に規定する届出手続等を行うに当たり、届出内容について、あらかじめ監督員に報告する。
- (3) 関係法令等に基づく官公署その他の関係機関の検査に必要な資機材、労務等を提供し、これに要する費用を負担する。

1.1.7 工事実績情報の登録

契約金額が500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（コリンズ）に基づく工事実績情報の登録を行う。
登録内容についてあらかじめ監督員の確認を受けた後、（財）日本建設情報総合センター「JACIC」（ジャシック）に登録する。
【登録先】
一般財団法人 日本建設情報総合センター コリンズ・テクリスセンター
電話 (03)3505-0463 FAX (03)3505-8985
JACICのホームページを参照すること。

1.1.8 提出書類

受注者等が監督員に提出する工事請負契約関係の書面の書式、その提出部数等は、別に定める調布市総務部「請負者等提出書類処理基準及び請負者等提出書類処理要領」等による。
ただし、これに定めのないものは、監督員の指示による。

1.1.17 過積載の防止

本工事における過積載の防止については、標準仕様書によるほか、「過積載防止対策マニュアル」（東京都財務局）によるものとする。
「過積載防止対策マニュアル」は、東京都財務局ホームページを参照する。

第2節 工事関係図書

1.2.1 実施工程表

- (4) 実施工程表は次のものを作成し、監督員に提出する。
 - 全体工程表（原則、ネットワーク工程表とする。）
 - 月間工程表
 - 週間工程表

1.2.2 施工計画書

- (4) 2.2.4「仮囲い等」において指定された仮設の施工計画書について、監督員の承諾を受ける。

1.2.5 試験、施工等の記録

- (3) 工事記録写真の撮影は、別に定める「財務局工事記録写真撮影要領」（東京都財務局）による。
また、工事記録写真撮影計画書の作成は、次による。
 - 作成する。
- エ 写真帳の提出は、次による。
 - 作成する。

第3節 工事現場管理

1.3.5 施工条件

- (2) 施工条件は、次による。
 - ・ 本工事は中学校敷地内につき、工事期間中は、生徒、施設利用者、職員、歩行者等に危害を与えないように事前に施工計画、工程等の打ち合わせを行い、充分な安全対策を施すこと。
また、工事に起因して損害等が生じた場合は、受注者の責任において復旧または、補償を行うこと。整理、清掃、後片づけはその都度行い生徒、施設利用者、職員、歩行者に危害を与えないように飛散、転倒防止等、安全対策、管理、事故防止に努めること。
 - ・ 工事着手及び施工時間については、施設運営に支障をきたさないよう、施設管理者及び監督員と協議を行い必要に応じて適切な処置を講じること。
 - ・ ブレーカー作業等を伴う解体工事については、可能な限り、夏季休暇期間中である令和8年7月21日から8月31日までに完了すること。
 - ・ 工事期間中、本中学校敷地内で選挙が行われる場合は、協力すること。
 - ・ 生徒の登下校の時間帯、工事車両は敷地周辺の道路を通行しないこと。
 - ・ 工事着手後、外装、内装仕上げの模様、色及び艶等は監督員の承諾を得ること。

1.3.7 施工中の安全確保

- ・ 交通整理員及び警備員は、必要に応じて配置すること。
- ・ 火気を使用する場合は、付近に消火器を設置して工事を行う事。その他監督員の指示する安全措置を講じること。

1.3.14 室内空気汚染対策等

- (1) 対象物質
対象物質は、VOCのうちホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロルピリホス、フェノフルルブ、ダイアジノン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルの13物質とする。
- (2) 対象箇所等
対象室は、基本的に全ての室とし、建物の用途については特に限定しない。（室に合板類、フローリング、壁紙等の内装材料等を多量に使用することにより、または、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木等に接着剤を多量に使用することにより、VOCが多量に放散される恐れがある場合には本対策による。）
- (3) 建材及び施工材の選定
建材及び施工材の選定においては、対象物質を放散しないか、放散が十分少ないものを日本農林規格（JAS）、日本産業規格（JIS）及びSDS（安全データシート）等参考にして、適切に選択する。
- (4) 使用材料の立会い検査
原則として、使用材料の搬入時に監督員による立会い検査を実施し、設計図書に指定したもまたは同等品以上であることを確認する。具体的には、ホルムアルデヒド放散等級等について、製品やその包装の表示マークまたは国土交通大臣の認定書等により確認するものとする。
- (5) 使用材料の保管・養生
搬入された使用材料は、開封して通風の良い場所に保管し、化学物質の放散に努める。
また、養生期間を出来る限り長く設けることで、化学物質を放散させる。
養生シートで覆う場合には、通気性のあるものを使用すること。
- (6) 施工中の対策
接着剤、塗料等の使用にあたっては、施工方法や塗布量等を十分に管理するとともに、適切な乾燥時間を設ける。また施工中及び施工後の通風、換気を十分に行い、室内に発散した化学物質を室外に放出させる。
- (7) 施工完了後の対策
施工完了後の対策対象室の施工が完了し、引渡しをするまでの間、強制換気や必要に応じてペークアウト等の措置をし、室内空気中の化学物質の低減化を図る。

令和8年度	令和8年6月		調布市総務部営繕課	工事件名	調布市立第七中学校普通教室改修工事	図面名称	特記仕様書 1	縮尺	-	図面No.	A-01
-------	--------	---	-----------	------	-------------------	------	---------	----	---	-------	------

第7節 施工

1.7.9 化学物質の濃度測定

- (1) 室内空気環境測定は次による。

ア 測定対象物質

- 1 3物質（ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、クロルピリホス、テトラデカン、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、ダイアジノン、フェノブカルブ）

イ 空気試料の採取方法等

室内空気環境測定は、原則として、厚生労働省の室内空気中化学物質の採取方法と測定方法に準拠して行う。なお、測定にあたっての留意点は次のとおりとする。

- (7) 室内の中央付近で、少なくとも壁から1m以上離れた高さ1.2～1.5mの位置を

測定位置とする。乳幼児施設では、使用実態による測定方法とする。

- (4) 常時換気設備がある場合は、稼動させた状態で測定する。

- (ウ) 木製造作収納家具等の扉及び引出しは、開放した状態にする。

- (エ) 測定する前に、室内を30分換気し、続いて5時間以上窓及び扉を密閉する。
(測定終了まで閉鎖を保つ)

- (オ) アクティブ（吸引）方式とし、30分間で2回採取する。

- (カ) ホルムアルデヒドは、ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法によって採取し、高速液体クロマトグラフ法によって行う。

- (キ) 揮発性有機化合物は、固相吸着／溶媒抽出法／、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の3種の方法のいずれかをを用いて採取し、ガスクロマトグラフ質量分析法によって行う。

※対象物質の厚生労働省の指針値及び測定時の定量下限値は下記のとおりとする。

対象物質	指針値(μg/m ³ (ppm))	定量下限値(μg/m ³ (ppm))
ホルムアルデヒド	100(0.08)	6(0.005)
アセトアルデヒド	48(0.03)	6(0.003)
トルエン	260(0.07)	20(0.005)
キシレン	200(0.05)	30(0.07)
エチルベンゼン	370(0.085)	20(0.005)
ステレン	220(0.05)	20(0.005)
パラジクロロベンゼン	240(0.04)	20(0.003)
フタル酸ジ-n-ブチル	17(0.0015)	10(0.001)
クロルピリホス	1(0.00007)	0.05(0.000003)
テトラデカン	330(0.04)	30(0.004)
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100(0.0063)	10(0.0006)
ダイアジノン	0.29(0.00002)	0.05(0.000004)
フェノブカルブ	33(0.0038)	0.3(0.00003)

ウ 測定箇所

室名	箇所数	回数
普通教室(1)	各1箇所	改修後
普通教室(2)	(計2箇所)	各1回

- (2) 施工完了後の測定及び対策

対象室の施工が完了し、工事完了するまでの間に、室内空気環境測定を行う。

なお、事前に測定に関する計画書を作成し、監督員の承諾を受ける。

測定の結果が厚生労働省の定める指針値を超えた場合は、内装材等の材質及び換気の状態を調査し、原因を究明する。また、換気設備については換気風量の実測を行う。換気の促進等で改善が見込める場合は、必要に応じてペークアウト等の措置をし、室内空気中化学物質の低減化を図る。換気の促進等で改善が見込めない場合は、再施工等の措置を講ずる。是正措置後、再度室内空気環境測定を実施し、安全を確認する。

- (3) 情報の提供

工事発注の担当課及び施設管理者に対して、室内空気汚染源となる材料の使用状況を示すとともに、必要に応じて、対策に関する配慮事項について情報提供を行う。

- (4) 引渡し

室内環境測定の結果を考慮し、安全を確認した上で引渡しをする。

なお、工事期間中または工事完了から引渡しまでの期間中に調布市が室内環境測定(TVOC)を行う場合は、測定時期の調整及び換気に協力すること。

第2章 仮設工事

第2節 縄張り、遣方、仮囲い及び足場等

第5節 既存部分の養生

2.5.3 仮設間仕切

- (1) 仮設間仕切等の種別は、次による。

種別	下地	仕上げ材
E種	軽量鉄骨下地	石膏ボード張り t=9.5

第12章 木工事

第2節 材料

12.2.1 木材

- (2) 樹種

イ 樹種は、次による。

樹種	使用箇所
ラワン	額縁、カーテンボックス（新設部）

第14章 金属工事

第1節 一般事項

第4節 軽量鉄骨天井下地

14.4.2 材料

- (2) 野縁等の種類は、次による。

- 屋内は19形とする。

5節 軽量鉄骨壁下地

14.5.3 形式及び寸法

- (1) スタッド、ランナーの種類は、次による。

- 65形 (高さ4.0m以下)
- 100形 (UD半曲面黒板補強)

第16章 建具工事

第14節 ガラス

16.14.2 材料

- (1) 板ガラス

強化ガラス及び倍強化ガラスは、次による。

種類・品種等	厚さ	使用箇所
学校用強化ガラス	4.0mm	学校間仕切り引違戸

- (2) ガラス留め材の種別は、次による。

建具の種類	材種
学校間仕切引違い戸	シーリング材(SR-1)

第18章 塗装工事

第2節 素地ごしらえ

18.2.2 木部の素地ごしらえ

木部の素地ごしらえは、次による。

種別	施工部位
A種	木製巾木

18.2.8 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ

せっこうボード及びその他ボード面の素地ごしらえの種別等は、次による。

種別	施工部位	目地処理
A種	せっこうボード	継目処理工法

第8節 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-6)

18.8.3 木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り

屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別等は、次による。

種別	使用箇所
B種	カーテンボックス

第9節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)

18.9.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別等は、次による。

種別	使用箇所
B種	モルタル面、せっこうボード面

第19章 内装工事

第2節 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

19.2.2 材料

- (1) ビニル床シートの種類、色柄、厚さ等は、次による。

種類	厚さ	使用箇所
F S	2.0	図示による

- (2) ビニル幅木の種類、厚さ、高さ等は、次による。

- 厚さ1.5mm以上、高さ100mm

19.2.3 施工

- (2) ビニル床シート張り

ウ ビニル床シートの継目処理工法は、次による。

- 熱溶接工法

第7節 せっこうボード、その他ボード及び合板張り

19.7.2 材料

- (1) せっこうボード、その他のボード類の種類、厚さ等は、次による。

種類	略称	厚さ	使用箇所
石膏ボード	GB-R	9.5、12.5	図示による
強化石膏ボード	GB-F	12.5	
硬質石膏ボード	GB-H	9.5	
化粧石膏ボード	GB-D	9.5	
ロックウール化粧吸音板	DR	15.0	

19.7.3 工法

- (1) 下地は、次による。

- 軽量鉄骨下地

- (7) せっこうボードの目地工法の種類は、次による。

- 継ぎ目処理(テーパエッジ)
- 突付工法(スクエアエッジ)

第20章 ユニット及びその他の工事

第1節 一般事項

20.1.2 基本品質

- (4) ユニット工事に用いる接着剤は、トルエン等の含有量の少ない規格品とし、接着材に含まれる可塑剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含まない難揮発性（沸点300℃以上）のものとする。
ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量は、次による。
- 規制対象外（標準仕様書「1.4.1(2)」による。）又はF☆☆☆☆

20.2.6 黒板

- (1) 黒板に使用する合板類のホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。

20.2.13 家具類

- (1) 収納、収納家具、住宅設備機器及び建具類に用いる合板類のホルムアルデヒド放散量は、次による。
- 規制対象外（標準仕様書「1.4.1(2)」による。）又はF☆☆☆☆
- (2) MDF及びパーティクルボードに使用する木質材料が再生資源である場合は、木質材料及び植物繊維の重量比配合割合が50%以上のものを使用するものとし、再生資源以外の場合は、原料の原木は、伐採に当たって、生産された国又は地域における森林に関する法令上の手続が適切になされたものを使用するものとする。

第23章 防水改修工事

第7節 シーリング

23.7.2 材料

- (2) シーリング材の種類は、次による。

シーリング材の種類	使用箇所
MS-2	改修アルミニウム製建具

第27章 塗装改修工事

第2節 下地調整

27.2.2 木部の下地調整

木部の下地調整の種別等は、次による。

種別	施工部位及び塗料の種別
RB種	建具額縁類、カーテンボックス類

27.2.5 モルタル面及びプラスター面の下地調整

モルタル面及びプラスター面の下地調整の種別等は、次による。

種別	施工部位及び塗料の種別
RB種	壁、梁型

第9節 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)

27.9.3 木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り

屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別等は、次による。

種別	使用箇所
B種	額縁類、カーテンボックス類

第10節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)

27.10.2 モルタル面及びプラスター面合成樹脂エマルジョンペイント塗り

モルタル面及びプラスター面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種別等は、次による。

種別	使用箇所
B種	壁、梁型

第29章 石綿除去工事

第1節 一般事項

29.1.1 適用範囲

石綿含有建材はすべての種類の石綿及びそれらをその重量の0.1%を超えて含有する物をいう。
石綿含有建材の種類は、石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等、石綿含有成形板等及び石綿含有仕上塗材で「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル」（環境局）による。当該マニュアルは東京都環境局のホームページに掲載されている最新版を参照すること。

なお、既に封じ込まれている吹付け石綿等も、石綿含有吹付け材と同様の扱いとする。

29.1.3 施工一般

- (1) 受注者は、作業の届出に必要な書類等の関係官庁への提出について遅滞なく行う。
(2) 受注者は、「大気汚染防止法」に基づく届出（特定粉じん排出等作業実施届書）又は「東京都環境確保条例」に基づく届出（石綿飛散防止方法等計画届出書）に必要な資料を作成し、監督員に届出の記載内容の説明を行うとともに、提出に協力する。
(3) 受注者は、事前に「石綿障害予防規則」第4条に定められた事項を盛り込んだ施工計画書を作成、監督員に提出し、承諾を得た後に施工する。また、資格証明書及び工事経歴書の写しを施工計画書に添付する。その実施内容を監督員に報告する。
(4) 石綿処理に関する調査、作業等については、諸法令等の遵守に加え、「建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル」（東京都環境局）の最新版に準拠する。
(5) 関係法令、特記仕様書等で資格等を必要とされている作業関係者、確認者等について、の資格証等の提示を求めたときは、速やかに応じる。

29.1.5 石綿粉じん濃度測定

- (1) 石綿含有吹付け材及び石綿含有保温材等の除去工事を施工する場合は次による。
ア 受注者は、工事の場所の敷地の境界線のうちで、集じん・排気装置の排出口に最も近い場所を含む建築物その他の施設の周辺4方向の図示による場所について、作業前、作業中、作業後の浮遊石綿濃度を測定し、報告書を提出する。
測定方法は、原則として「アスベストモニタリングマニュアル」（環境省）の最新版による。
※ 作業前の測定は、現場周辺のバックグラウンド濃度を把握するため実施する。
※ 作業中の測定は、除去工事の作業期間が6日を超える場合、6日ごとに1回以上行う。
区画以上の施工区画にわたって行われる場合、施工区画ごとに行う。
イ 施工区画の隔離状況等を把握するため、図示による次の地点において、浮遊石綿濃度を測定し、報告書を提出する。
○ 施工区画内
○ 施工区画直近の外周（除去作業中の前室の入口、集じん・排気装置の排気口）
測定方法は、原則として「アスベストモニタリングマニュアル」（環境省）の最新版による。

第2節 共通事項

29.2.1 専門工事業者

「工事に相応した技術を有することを証明する資料」については、次の要件を全て満たすことができる技術を証明する資料をいう。

- ① 除去工事に際し、作業場に隣接する部分の空気1リットル中の繊維状粒子（石綿を含む）をおよそ10本以下とすることにより、汚染を制御する技術を持っている。
② 除去処理工事終了後に、作業場における空気1リットル中の繊維状粒子（石綿を含む）の本数をおよそ10本以下とすることにより、建築物利用者の安全を確保できる技術を持つ。
③ 除去工事中の作業者は関連法令等に則り作業を行う等のほか、施工中に発生のおそれがある事故を想定して、その対策を講じることにより、安全を確保する技術を持っている。また、施工実績等も含める。
なお、「吹付け石綿粉塵飛散防止処理技術」については、「建設技術審査証明事業」した資料も含める。

29.2.6 表示および掲示

事前調査等、法令に基づき実施する掲示については、法令等に定められた大きさとする。その他の表示や掲示については、視認しやすい大きさとする。

29.2.8 保護具等

石綿処理に関わる監督員の保護具を処分する場合は、関係法令に従い適切に行う。

第5節 石綿含有成形板等の除去

29.5.1 石綿含有成形板等の除去

作業場所の周辺の養生は次による。

- 隔離養生（負圧不要）に用いる養生シート等は、耐久性及び耐水性を有し、石綿の繊維が通過できない物とし、隙間等ができないように設置する。

29.5.2 工法

ア 湿潤化の方法は次による。

- 粉じん飛散抑制剤等の散布
- 水噴霧による湿潤化
- 散水による湿潤化

※ 湿潤化するために行う散水その他の措置により石綿を含む水を排出するときは、ろ過その他の適切な処理を行う。
※ 「手ばらし」とは、石綿含有成形板等の接合・固定状態を、簡易な工具等で解除又はその位置において人力により破砕して現位置より除去することをいう。一般的には破壊しなければ飛散はないが、やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で作業する。

※ 石綿含有成形板等の除去は、原形のまま、手ばらしで行う。なお、やむを得ず切断、破砕等をしなければならない場合は、監督員と協議のうえ、常時湿潤化した状態、又は除じん性能を有する電動工具を使用して作業を行う。

29.5.3 除去した石綿含有成形板等の保管、運搬及び処分

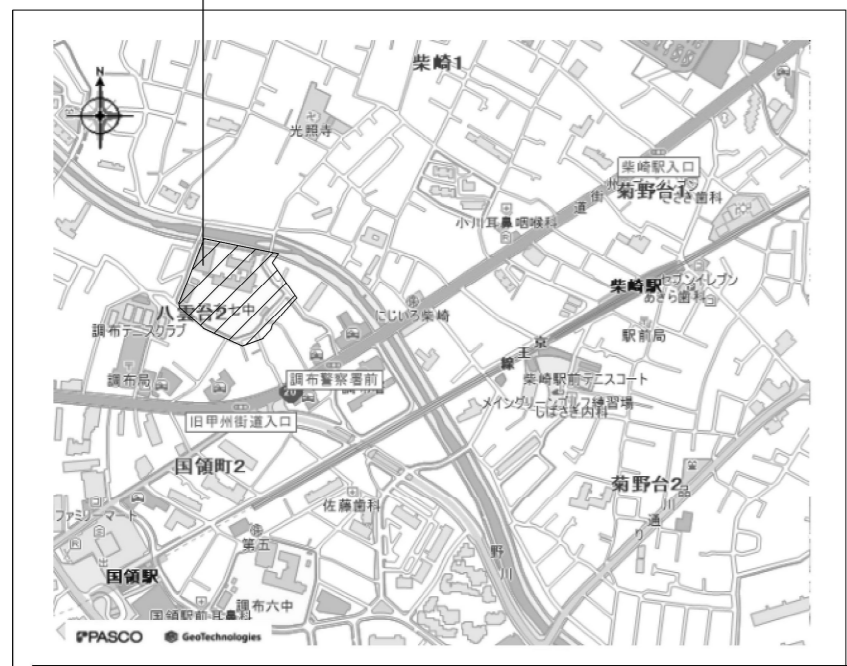
ウ(7) 石綿含有せっこうボードの処分は「1.1.16(2)キ」により、次の場所への搬出を想定している。

- (イ) 石綿含有石こうボードを除く石綿含有成形板等の処分は「1.1.16(2)オ」による。

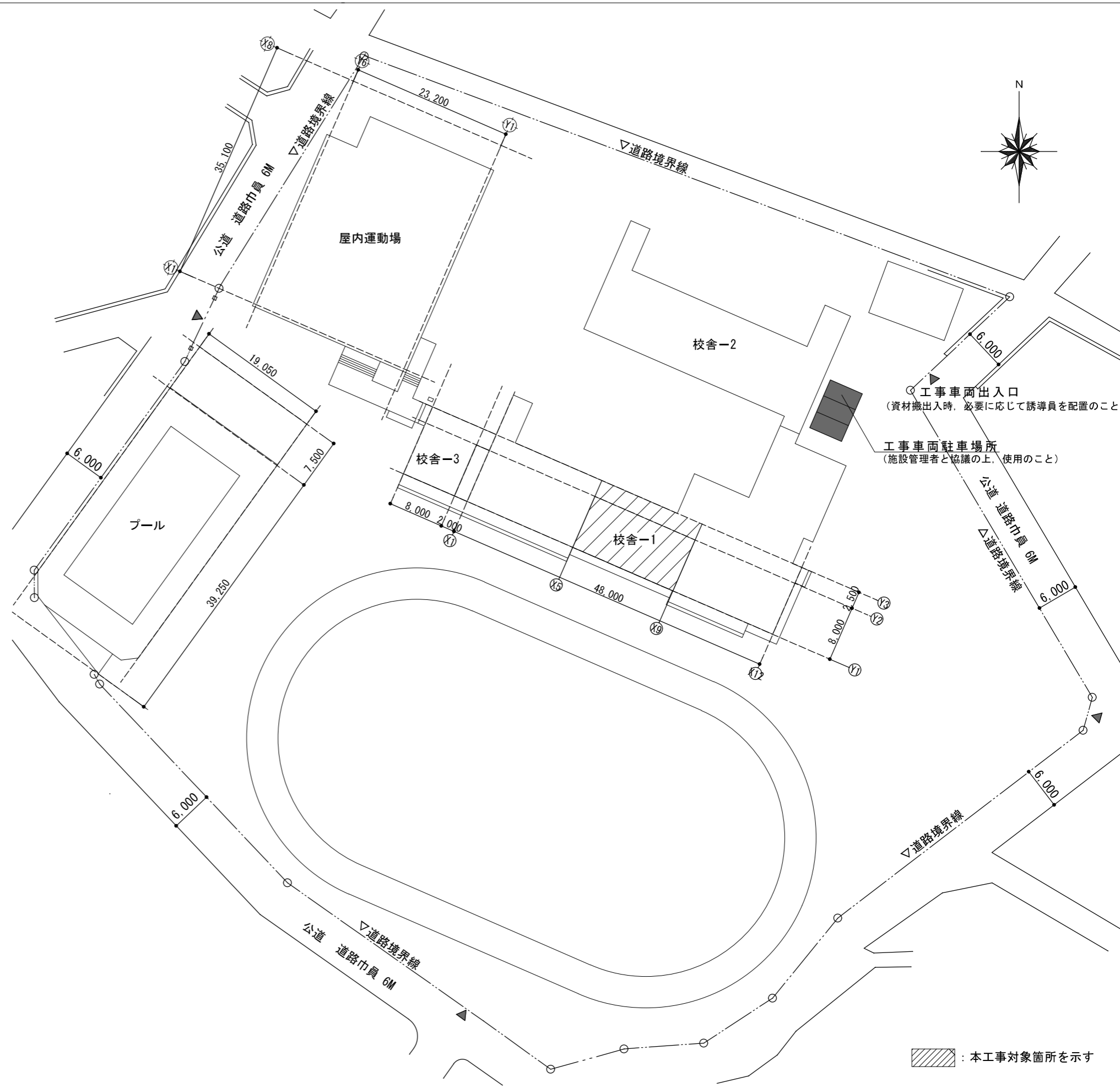
29.5.4 確認及び後片付け

ア 除去完了の確認を行う、石綿等に関する知識を有する者等とは、1.5.1(2)に示す事前調査を行うことができる者又は当該作業の石綿作業主任者とする。

調布市立第七中学校
調布市八雲台2丁目16番地1

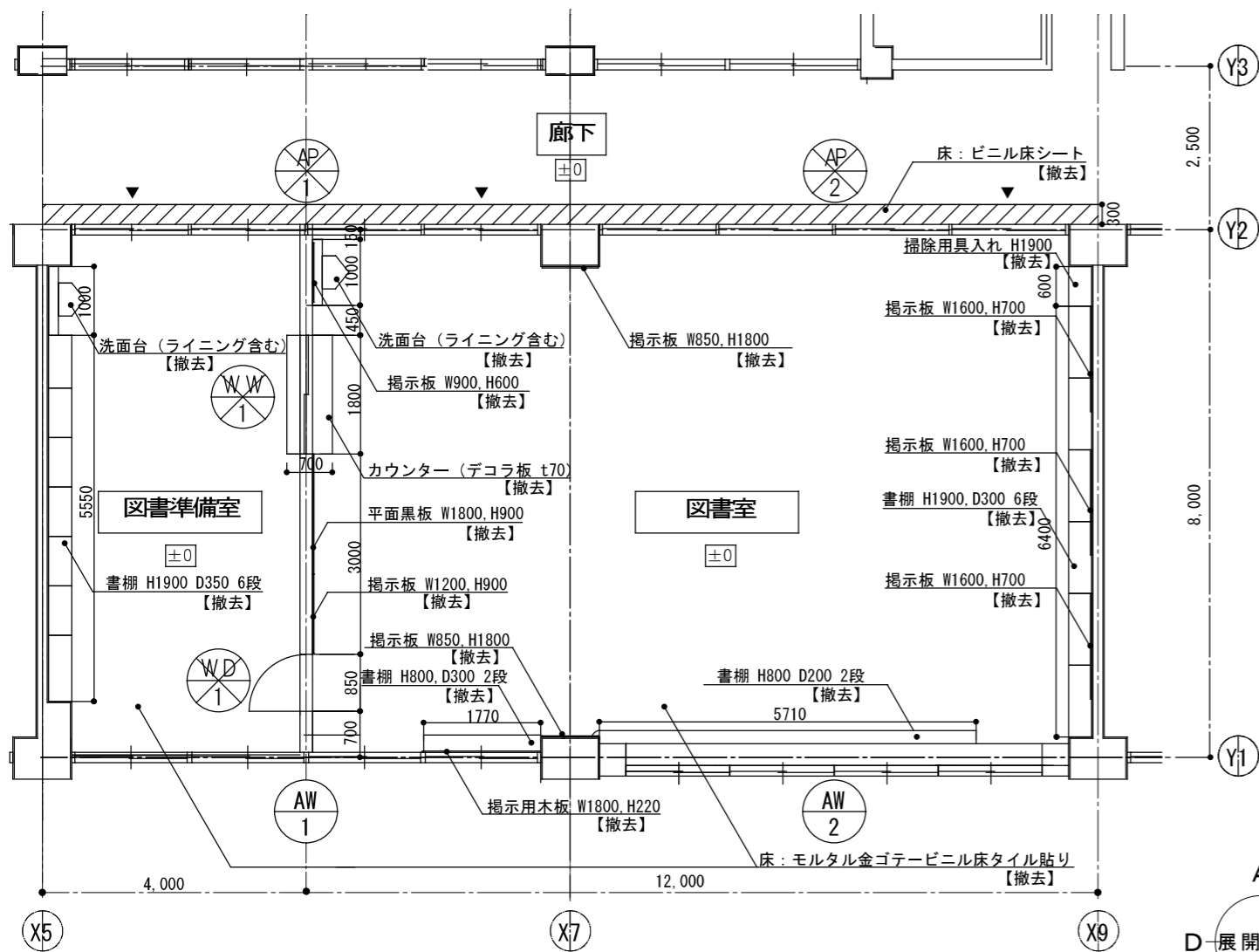


案内図 S=N.S

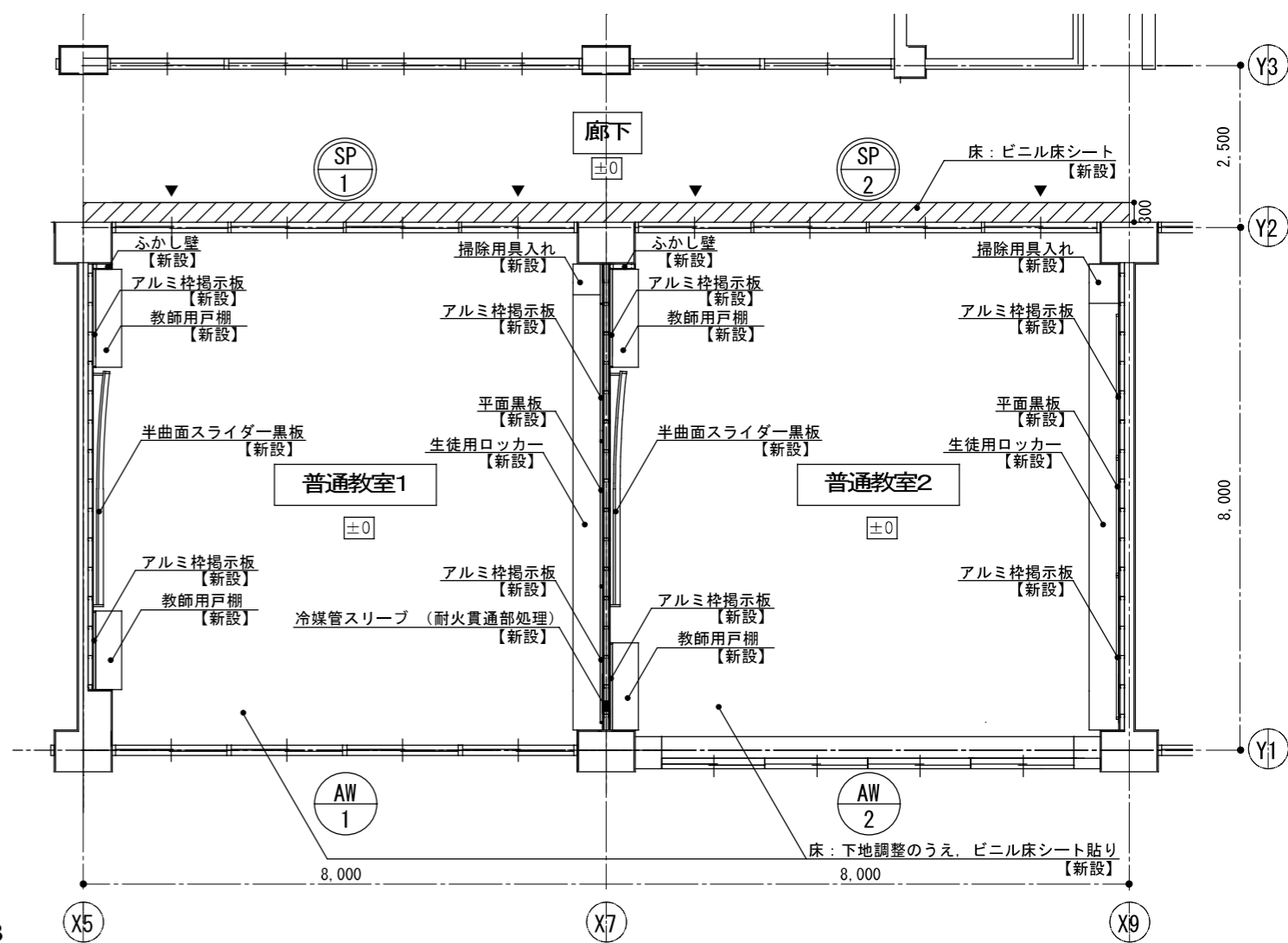


配置図 S=1:600

▨ : 本工程対象箇所を示す



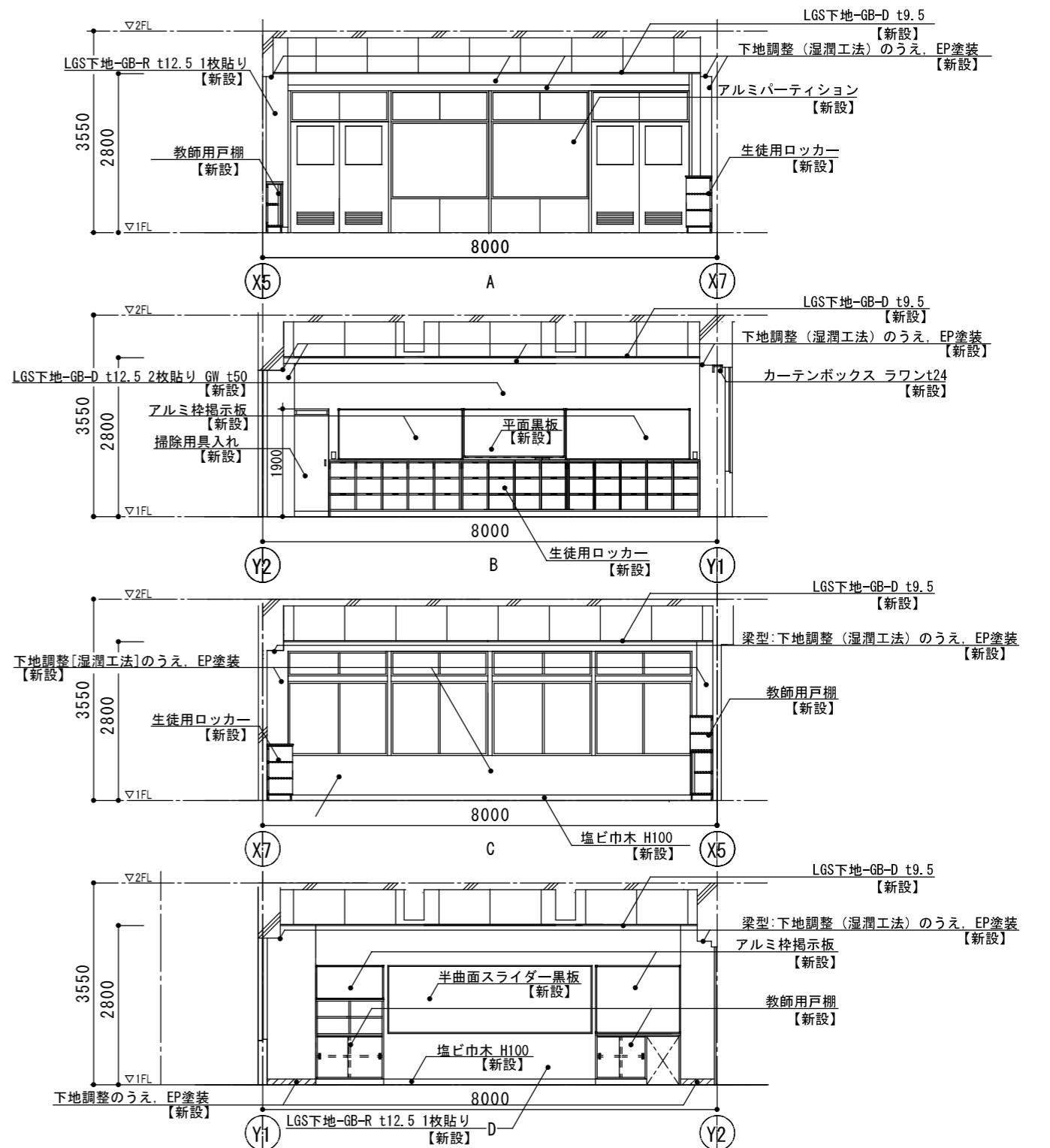
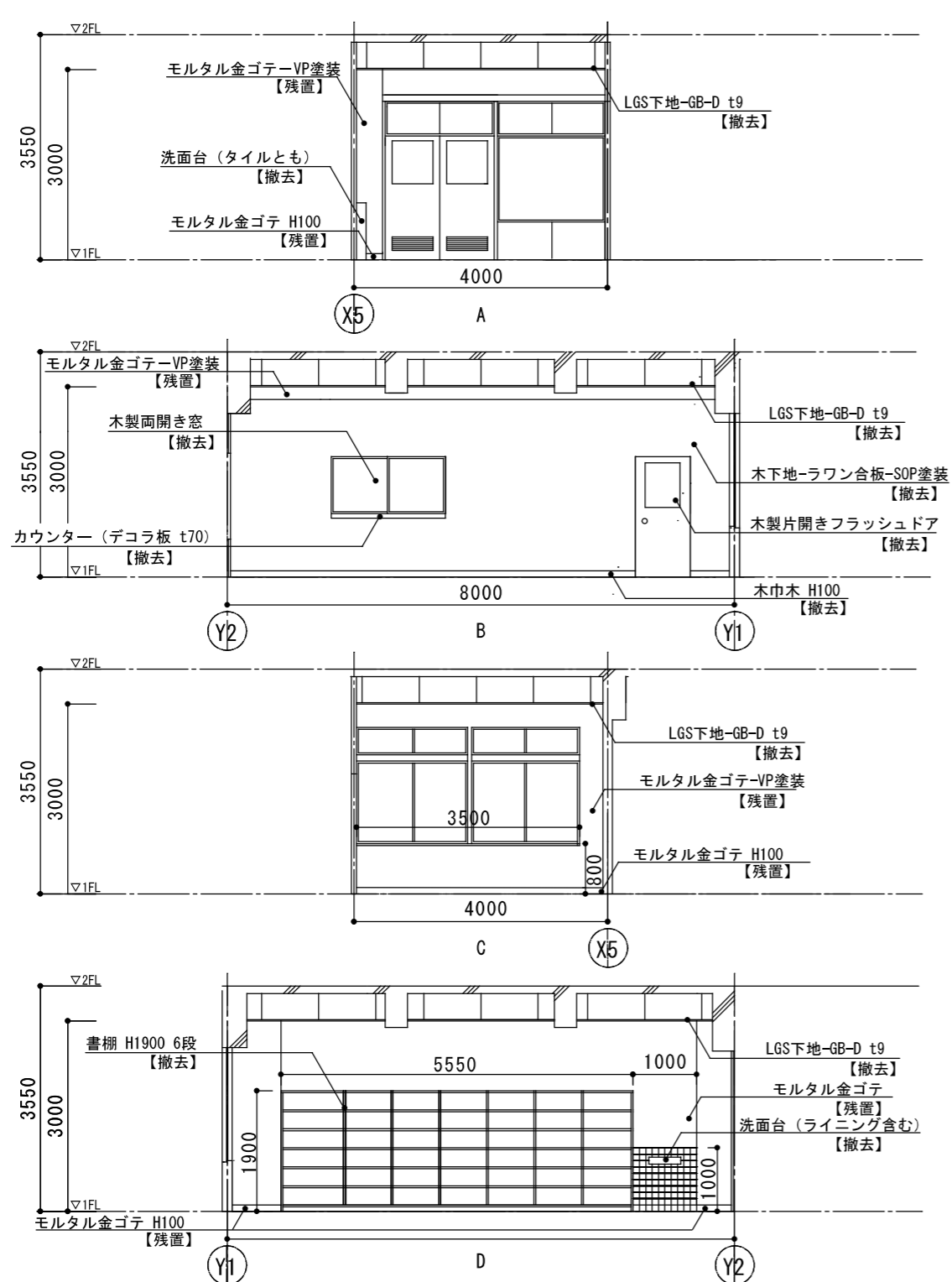
平面図（改修前） S=1/100



平面図（改修後） S=1/100

内部仕上表

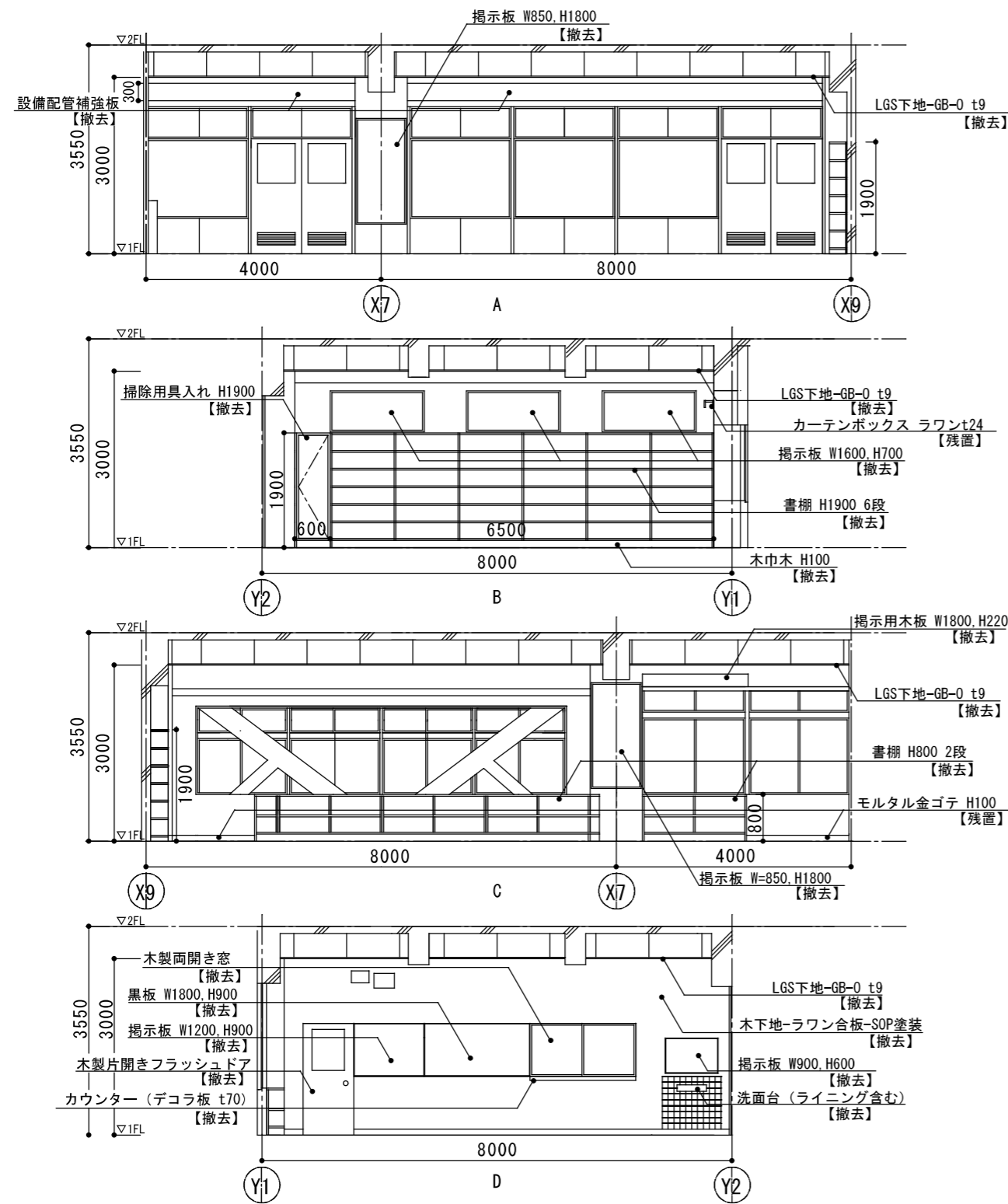
	図書準備室→普通教室1		図書室→普通教室2	
	改修前	改修後	改修前	改修後
天井	LGS下地-GB-D t9【撤去】 梁型：RC-VP塗装【残置】※7スﾊﾞｽ含有(Lv3)	LGS下地-GB-D t9.5【新設】 梁型：下地調整[湿潤工法]のうえ、EP塗装【新設】	LGS下地-GB-D t9【撤去】 梁型：RC-VP塗装【残置】※7スﾊﾞｽ含有(Lv3)	LGS下地-GB-D t9.5【新設】 梁型：下地調整[湿潤工法]のうえ、EP塗装【新設】
壁	モルタル金ゴテ-VP塗装【残置】※7スﾊﾞｽ含有(Lv3)	LGS下地-GB-D t12.5 1枚貼り-EP塗装【新設】 (一部)下地調整[湿潤工法]のうえ、EP塗装【新設】	モルタル金ゴテ-VP塗装【残置】※7スﾊﾞｽ含有(Lv3)	LGS下地-GB-D t12.5 1枚貼り-EP塗装【新設】 (一部)下地調整[湿潤工法]のうえ、EP塗装【新設】
間仕切壁	木下地-ラワン合板-SOP塗装【撤去】	LGS下地-GB-D t12.5 2枚貼り GWt50(24kg/m ²)-EP塗装【新設】 ※冷媒管スリーブ(耐火貫通部処理)【新設】	木下地-ラワン合板-SOP塗装【撤去】	LGS下地-GB-D t12.5 2枚貼り GWt50(24kg/m ²)-EP塗装【新設】 ※冷媒管スリーブ(耐火貫通部処理)【新設】
巾木	モルタル金ゴテ H100-VP塗装【残置】 木巾木 H100【撤去】	下地調整のうえ、EP-G塗装【新設】 塩ビ巾木 H100【新設】	モルタル金ゴテ H100-VP塗装【残置】 木巾木 H100【撤去】	下地調整のうえ、EP-G塗装【新設】 塩ビ巾木 H100【新設】
床	モルタル金ゴテ-ビニル床タイル貼りt2【撤去】 ※7スﾊﾞｽ含有(Lv3)	下地調整[湿潤工法]のうえ、 ビニル床シート貼りt2【新設】	モルタル金ゴテ-ビニル床タイル貼り【撤去】 ※7スﾊﾞｽ含有(Lv3)	下地調整[湿潤工法]のうえ、 ビニル床シート貼りt2【新設】
備考	書棚【撤去】、洗面台(ライニング含む)【撤去】 カウンター(デコラ板 t70)【撤去】 カーテンボックス【撤去】 カーテンレールS【撤去】	アルミ枠掲示板【新設】、教師用戸棚【新設】 半曲面スライダ黒板【新設】、平面黒板【新設】 生徒用ロッカー【新設】、掃除用具入れ【新設】 カーテンボックス:ラワンt24、EP-G塗【新設】 カーテンレールD【新設】	書棚【撤去】、洗面台(タイルとも)【撤去】 カウンター(デコラ板 t70)【撤去】 掃除用具入れ【撤去】、掲示用木板【撤去】 掲示板【撤去】、平面黒板【撤去】 カーテンボックス【残置】 カーテンレールS×2【撤去】	アルミ枠掲示板【新設】、教師用戸棚【新設】 半曲面スライダ黒板【新設】、平面黒板【新設】 生徒用ロッカー【新設】、掃除用具入れ【新設】 既存カーテンボックス EP-G塗【新設】 カーテンレールD【新設】



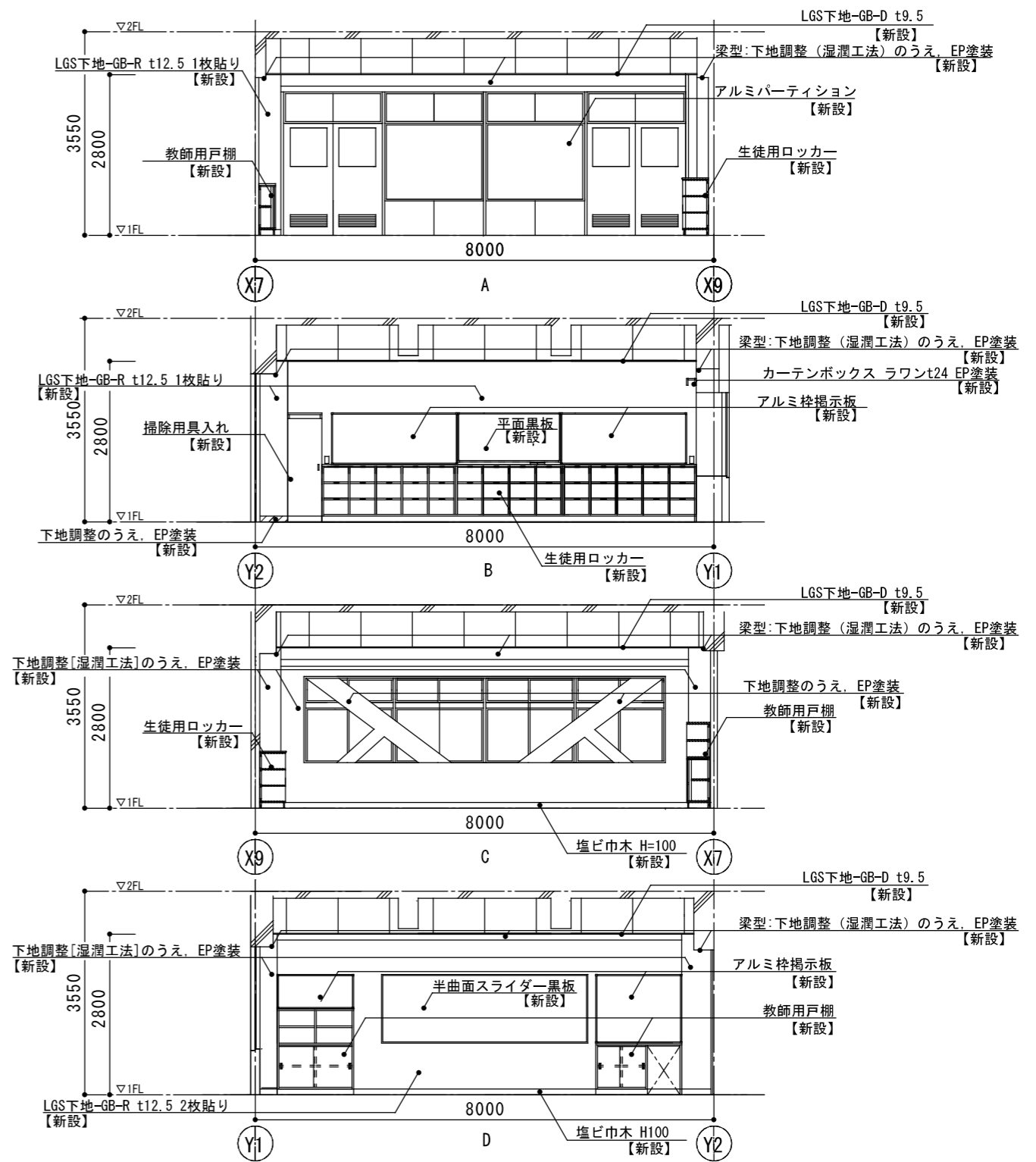
内部仕上表

	改修前 (図書準備室)	改修後 (普通教室1)
天井	LGS下地-GB-D t9【撤去】 梁型: RC-VP塗装【残置】※7ス ^ハ スト含有 (Lv3)	LGS下地-GB-D t9.5、廻り縁【新設】 梁型: 下地調整 [湿潤工法] のうえ, EP塗装【新設】
壁	モルタル金ゴテ-VP塗装【残置】※7ス ^ハ スト含有 (Lv3)	LGS下地-GB-R t12.5 1枚貼り-EP塗装【新設】 (一部) 下地調整 [湿潤工法] のうえ, EP塗装【新設】
	間仕切壁 木下地-ラワン合板-SOP塗装【撤去】	LGS下地-GB-R t12.5 2枚貼り GWt50 (24kg/m ²)-EP塗装【新設】* ※冷媒管スリーブ (耐火貫通部処理)【新設】
巾木	モルタル金ゴテ H100-VP塗装【残置】	下地調整のうえ, EP-G塗装【新設】
	木巾木 H100【撤去】	塩ビ巾木 H100【新設】
床	モルタル金ゴテ-ビニル床タイル貼り【撤去】※7ス ^ハ スト含有 (Lv3)	下地調整 [湿潤工法] のうえ, ビニル床シート貼りt2【新設】
備考	書棚【撤去】, 洗面台 (タイルとも)【撤去】, カウンター (デコラ板 t=70)【撤去】 カーテンボックス【撤去】, カーテンレールS【撤去】	アルミ柵掲示板【新設】, 教師用戸棚【新設】, 半曲面スライダ-黒板【新設】, 平面黒板【新設】 生徒用ロッカー【新設】, 掃除用具入れ【新設】 カーテンボックス: ラワンt24 EP塗装【新設】, カーテンレールD【新設】





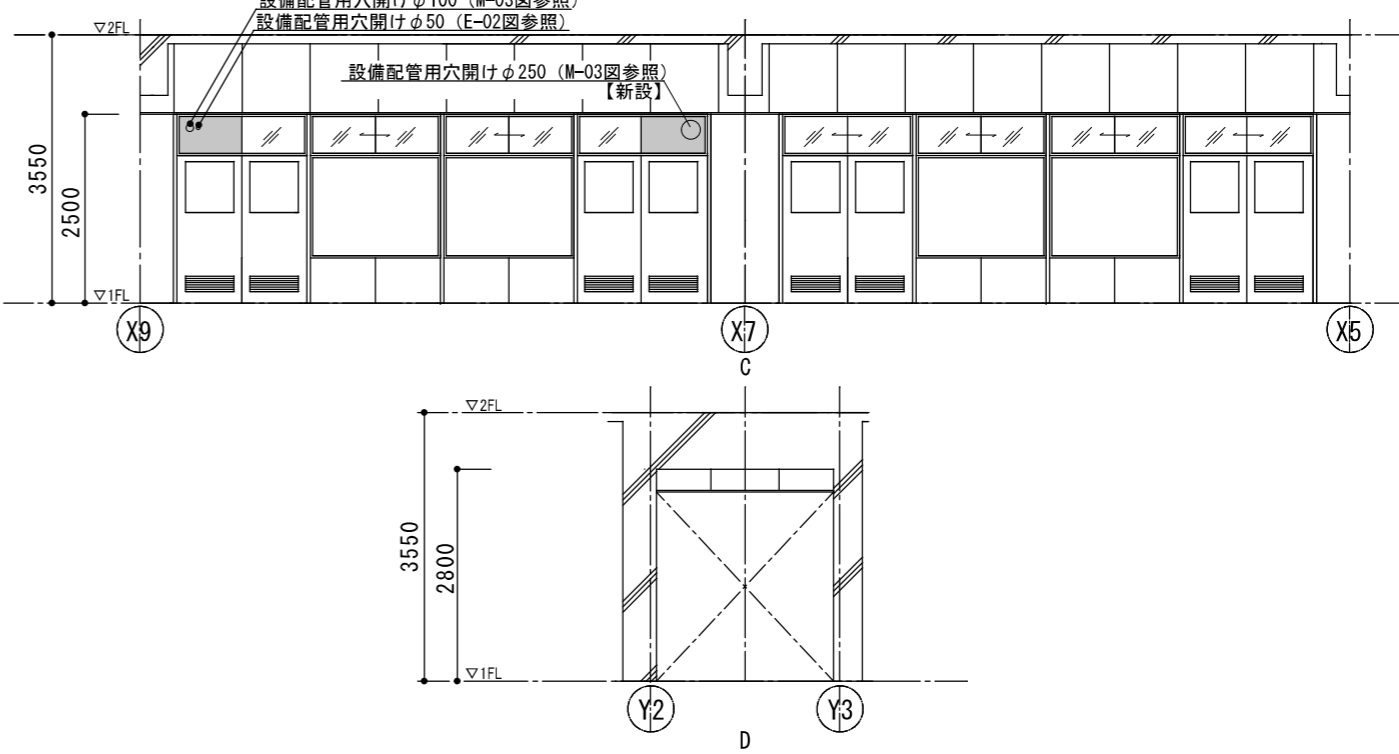
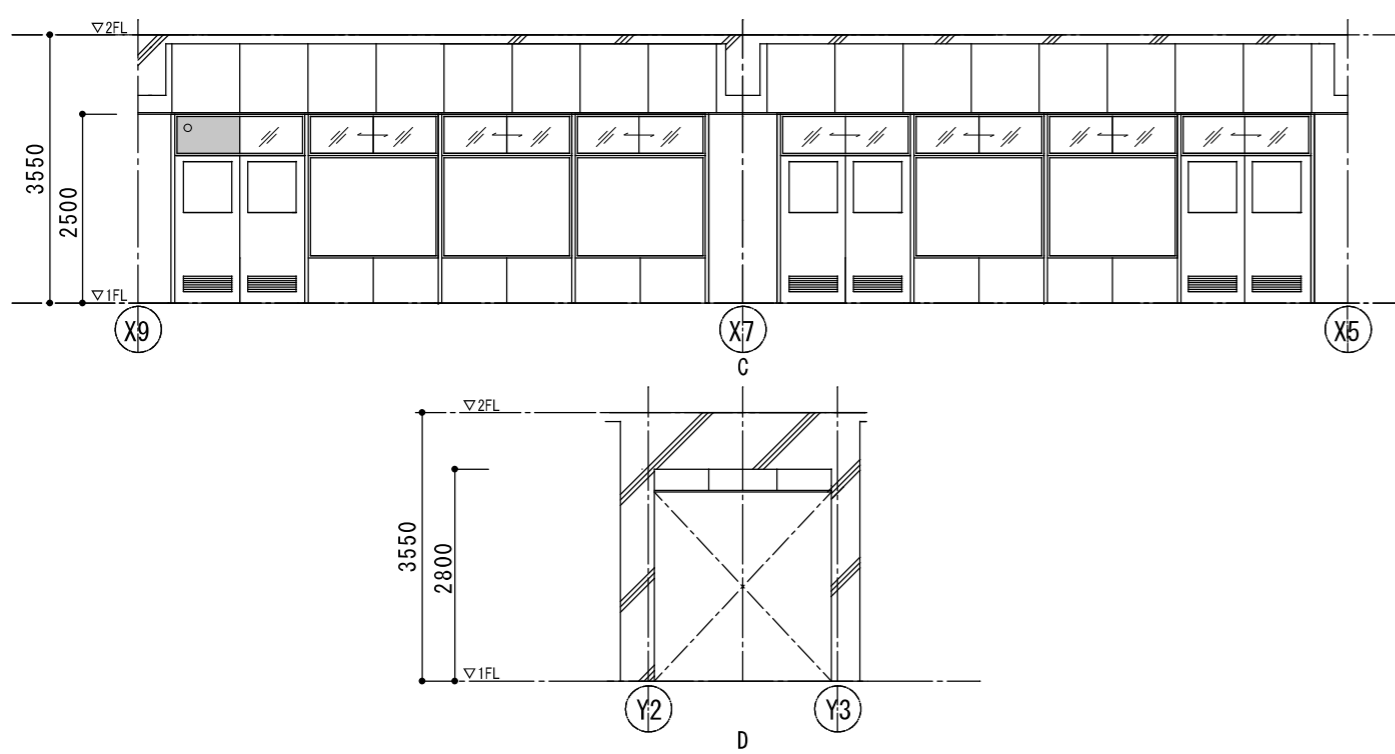
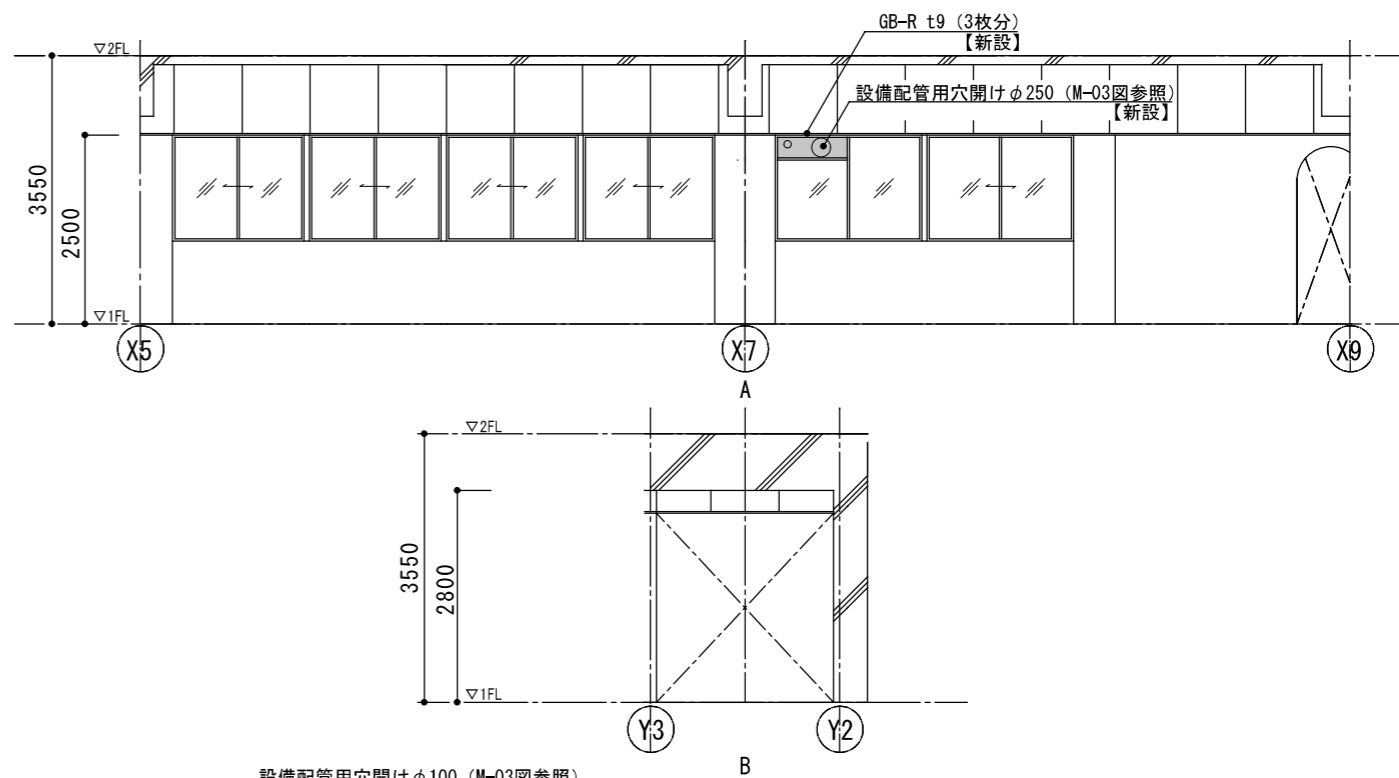
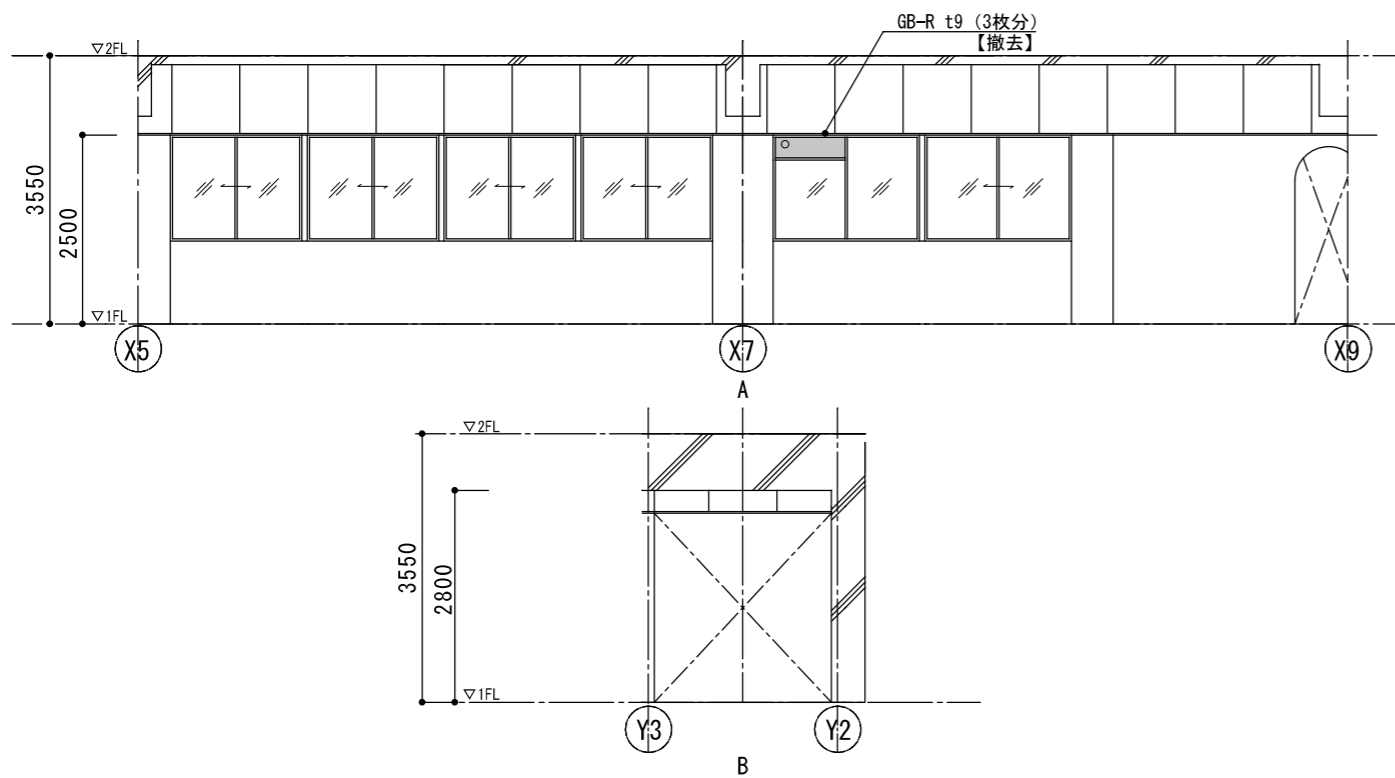
図書室 展開図 (改修前) S=1/100



普通教室2 展開図 (改修後) S=1/100

内部仕上表

	改修前 (図書室)	改修後 (普通教室2)
天井	LGS下地-GB-D t9【撤去】 梁型: RC-VP塗装【残置】※アスベスト含有(Lv3)	LGS下地-GB-D t9.5、廻り縁【新設】 梁型: 下地調整[湿潤工法]のうえ, EP塗装【新設】
壁	モルタル金ゴテ-VP塗装【残置】※アスベスト含有(Lv3)	LGS下地-GB-R t12.5 1枚貼り-EP塗装【新設】 (一部) 下地調整[湿潤工法]のうえ, EP塗装【新設】
	間仕切壁 木下地-ラワン合板-SOP塗装【撤去】	LGS下地-GB-R t12.5 2枚貼り GWt50-EP塗装【新設】※ ※冷媒管スリーブ (耐火貫通部処理)【新設】
巾木	モルタル金ゴテ H100-VP塗装【残置】	下地調整のうえ, EP-G塗装【新設】
	木巾木 H100【撤去】	塩ビ巾木 H100【新設】
床	モルタル金ゴテ-ビニル床タイル貼り【撤去】※アスベスト含有(Lv3)	下地調整[湿潤工法]のうえ, ビニル床タイル貼り【新設】
備考	書棚【撤去】、掃除用具入れ【撤去】、洗面台(タイルとも)【撤去】、カウンター(デコラ板 t=70)【撤去】 掲示板【撤去】、掲示用木板【撤去】、カーテンボックス【残置】、カーテンレールS×2【撤去】	アルミ柵掲示板【新設】、教師用戸棚【新設】、半曲面スライダ-黒板【新設】、平面黒板【新設】 生徒用ロッカー【新設】、掃除用具入れ【新設】 既存カーテンボックス EP塗装【新設】、カーテンレールD【新設】



展開図（改修前） S=1/100

展開図（改修後） S=1/100

内部仕上表

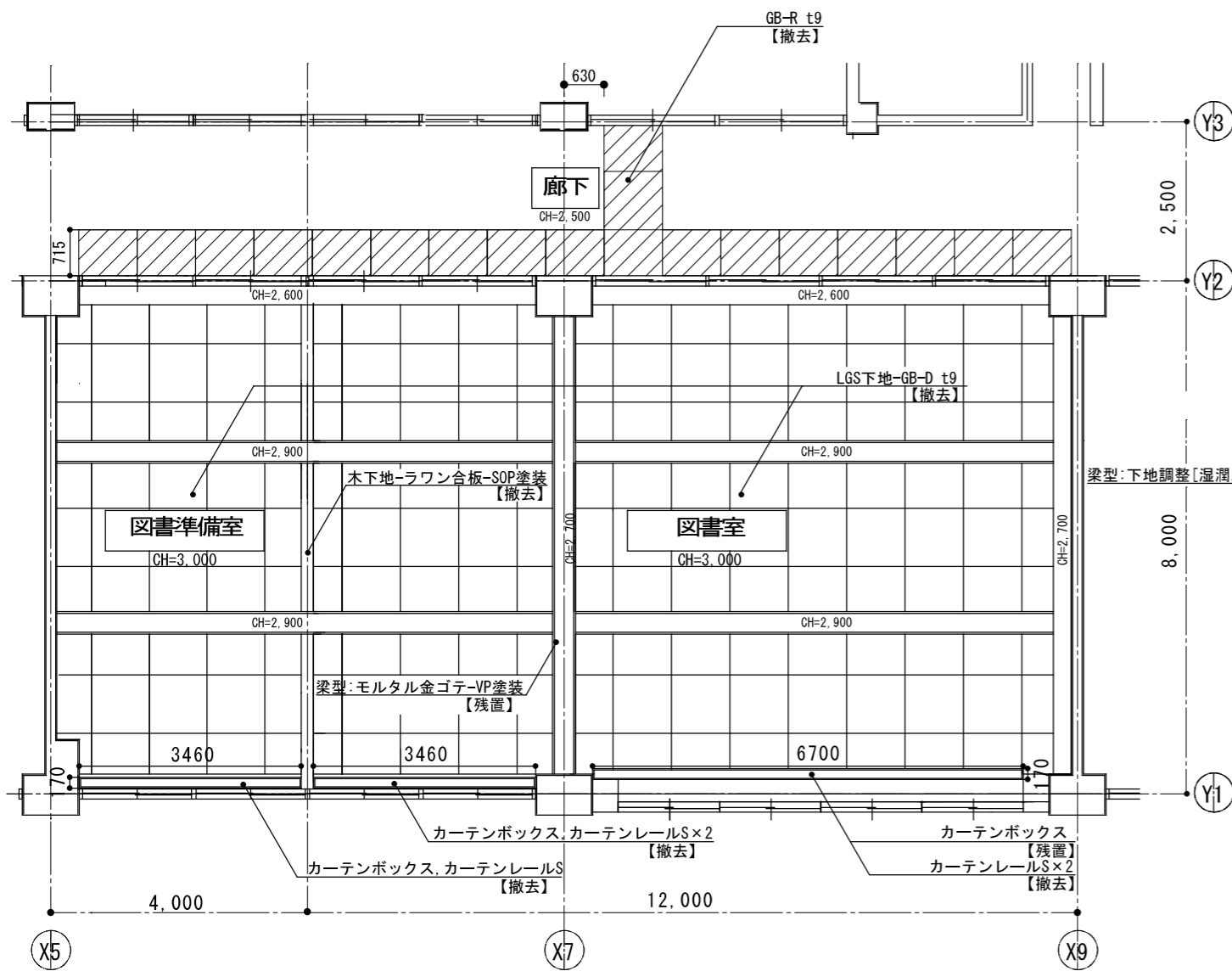
	改修前（廊下）	改修後（廊下）
天井	LGS下地【残置】-GB-R t9【撤去】	LGS下地【残置】-GB-R t9 -EP塗装【新設】
壁	モルタル金ゴテ-VP塗装【残置】	既存のまま
巾木	モルタル金ゴテ H100-VP塗装【残置】	既存のまま
床	モルタル金ゴテ-ビニル床シート貼り【残置】	既存のまま
備考	スチールパーティション【撤去】	スチールパーティション・室名札【新設】 ※詳細は [A-13]

建具表 [S=1/50]

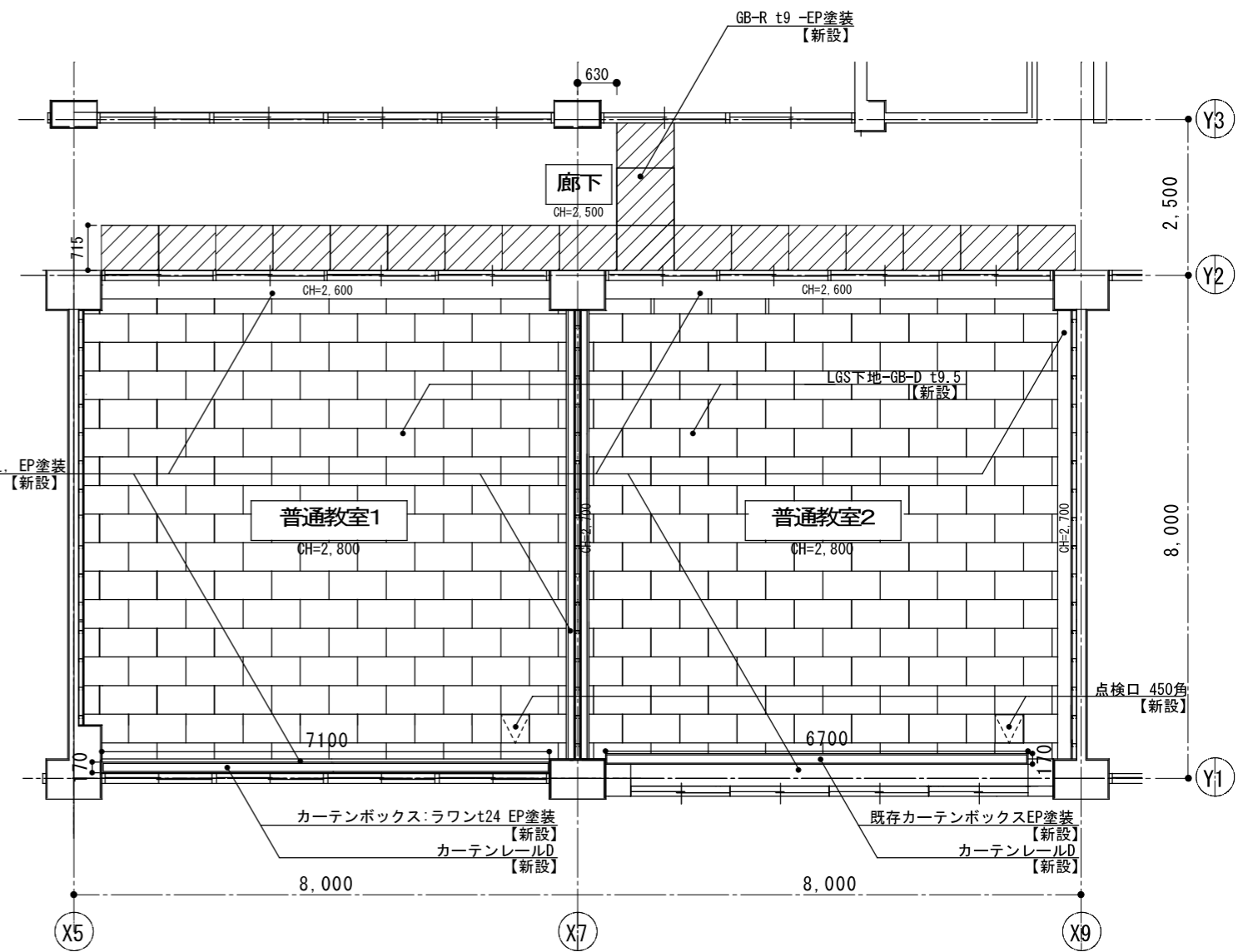
<p>記号・形式</p> <p>AW1 アルミサッシ【改修】</p>		<p>AW2 アルミサッシ【改修】</p>	<p>WD 木製片開きフラッシュドア【撤去】</p>																		
<p>室名</p> <p>ガラス</p>	<table border="1"> <tr> <td>普通教室1</td> <td>学校用強化ガラスt4</td> </tr> <tr> <td>アルミ</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>70</td> <td>遮熱フィルム</td> </tr> </table>	普通教室1	学校用強化ガラスt4	アルミ	一式	70	遮熱フィルム	<table border="1"> <tr> <td>普通教室2</td> <td>学校用強化ガラスt4</td> </tr> <tr> <td>アルミ</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>70</td> <td>遮熱フィルム</td> </tr> </table>	普通教室2	学校用強化ガラスt4	アルミ	一式	70	遮熱フィルム	<table border="1"> <tr> <td>図書準備室</td> <td>フロートガラス</td> </tr> <tr> <td>合板</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td></td> </tr> </table>	図書準備室	フロートガラス	合板	一式	40	
普通教室1	学校用強化ガラスt4																				
アルミ	一式																				
70	遮熱フィルム																				
普通教室2	学校用強化ガラスt4																				
アルミ	一式																				
70	遮熱フィルム																				
図書準備室	フロートガラス																				
合板	一式																				
40																					
<p>記号・形式</p> <p>AP アルミパーティション【撤去】</p>		<p>AP2 アルミパーティション【撤去】</p>	<p>WP 木製両開き窓【撤去】</p>																		
<p>室名</p> <p>ガラス</p>	<table border="1"> <tr> <td>図書準備室</td> <td>扉:型板ガラス, 上部欄間:フロートガラス</td> </tr> <tr> <td>ピントップ鋼板</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>85</td> <td></td> </tr> </table>	図書準備室	扉:型板ガラス, 上部欄間:フロートガラス	ピントップ鋼板	一式	85		<table border="1"> <tr> <td>図書室</td> <td>扉:型板ガラス, 上部欄間:フロートガラス</td> </tr> <tr> <td>ピントップ鋼板</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>85</td> <td></td> </tr> </table>	図書室	扉:型板ガラス, 上部欄間:フロートガラス	ピントップ鋼板	一式	85		<table border="1"> <tr> <td>図書準備室</td> <td>フロートガラス</td> </tr> <tr> <td>木枠</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td></td> </tr> </table>	図書準備室	フロートガラス	木枠	一式	100	
図書準備室	扉:型板ガラス, 上部欄間:フロートガラス																				
ピントップ鋼板	一式																				
85																					
図書室	扉:型板ガラス, 上部欄間:フロートガラス																				
ピントップ鋼板	一式																				
85																					
図書準備室	フロートガラス																				
木枠	一式																				
100																					
<p>記号・形式</p> <p>SP1 スチールパーティション【新設】</p>		<p>SP2 スチールパーティション【新設】</p>																			
<p>室名</p> <p>ガラス</p>	<table border="1"> <tr> <td>普通教室1</td> <td>学校用強化ガラスt4</td> </tr> <tr> <td>スチール</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>85</td> <td>掲示板・飛散防止フィルム</td> </tr> </table>	普通教室1	学校用強化ガラスt4	スチール	一式	85	掲示板・飛散防止フィルム	<table border="1"> <tr> <td>普通教室2</td> <td>学校用強化ガラスt4</td> </tr> <tr> <td>スチール</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>85</td> <td>掲示板・飛散防止フィルム</td> </tr> </table>	普通教室2	学校用強化ガラスt4	スチール	一式	85	掲示板・飛散防止フィルム							
普通教室1	学校用強化ガラスt4																				
スチール	一式																				
85	掲示板・飛散防止フィルム																				
普通教室2	学校用強化ガラスt4																				
スチール	一式																				
85	掲示板・飛散防止フィルム																				

※ は新設を示す。





天伏図 (改修前) S=1/100

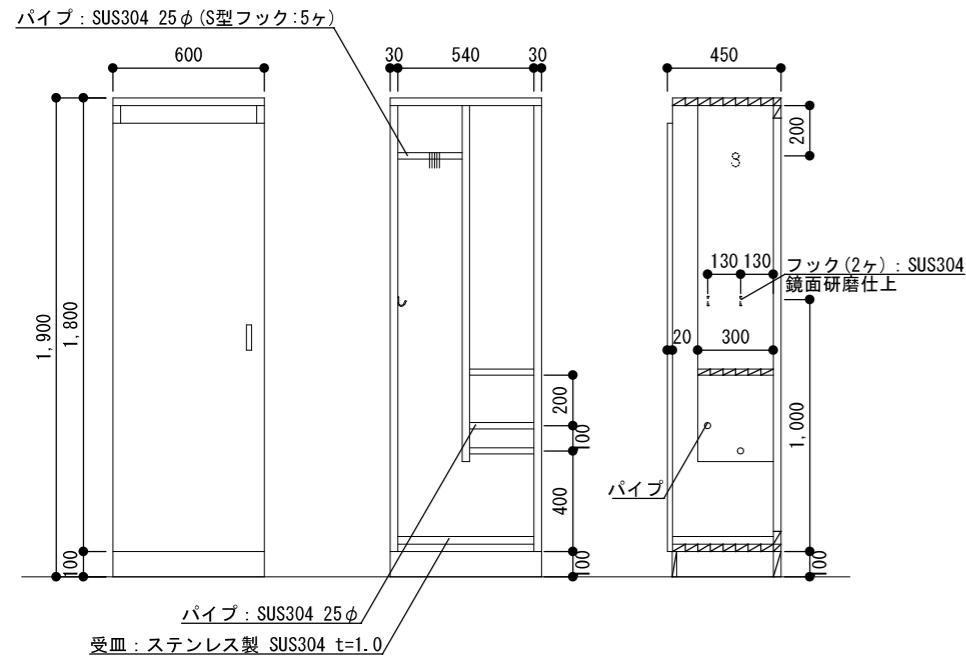


天伏図 (改修後) S=1/100

普通教室 1・2 : 掃除用具入れ【新設】 2箇所

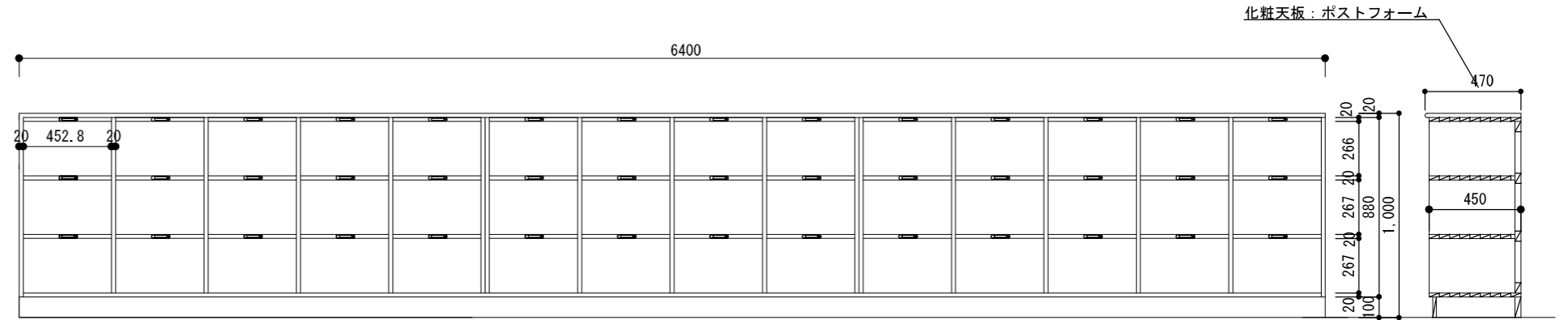
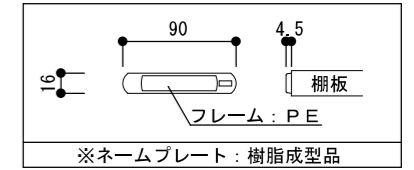
本体	ポリ合板ランバーコア t=30
木口	化粧シート貼
裏板	ポリ合板(t=7.0) 片面フラッシュ
中棚	ポリ合板ランバーコア t=25
扉	ポリ合板ベタ芯 t=20
巾木	ラワン(EP-G塗装) t=18

※ドアストッパーを取付けること。



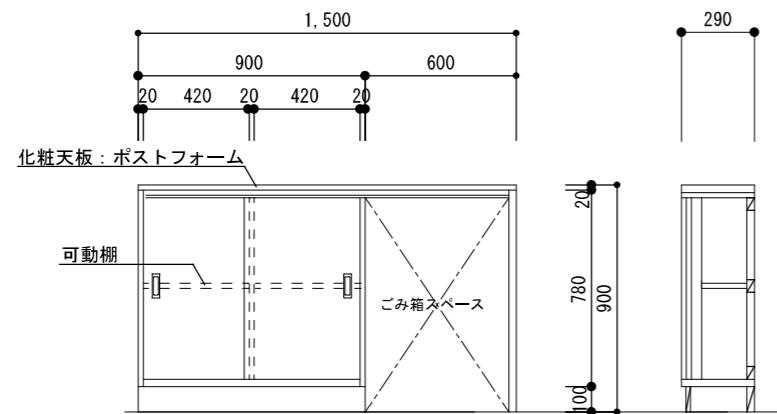
普通教室 1・2 : 生徒用ロッカー【新設】 2箇所

本体	ポリ合板ランバーコア t=30
木口	化粧シート貼
裏板	ポリ合板(t=7.0) 片面フラッシュ
巾木	ラワン(EP-G塗装) t=18



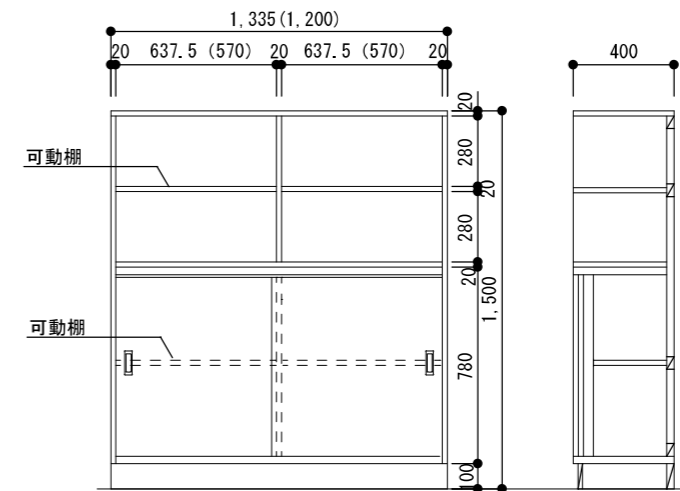
普通教室 1・2 : 教師用戸棚【新設】 2箇所

本体	ポリ合板ランバーコア t=30
木口	化粧シート貼
裏板	ポリ合板(t=7.0) 片面フラッシュ
引違戸	ポリ合板ベタ芯 t=20
棚	ポリ合板ランバーコア t=20
巾木	ラワン(EP-G塗装) t=18



普通教室 1・2 : 教師用戸棚【新設】 2箇所

本体	ポリ合板ランバーコア t=30
木口	化粧シート貼
裏板	ポリ合板(t=7.0) 片面フラッシュ
引違戸	積層材 ポリ合板貼り t=20
棚	ポリ合板ランバーコア t=20
巾木	ラワン(EP-G塗装) t=18



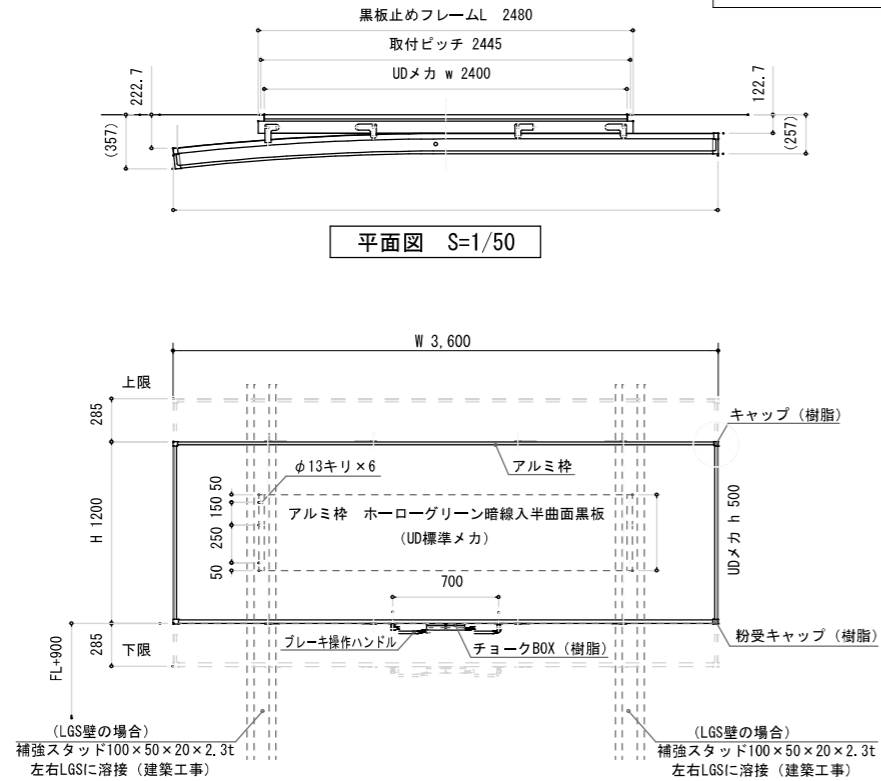
※()内は普通教室2における寸法とする。



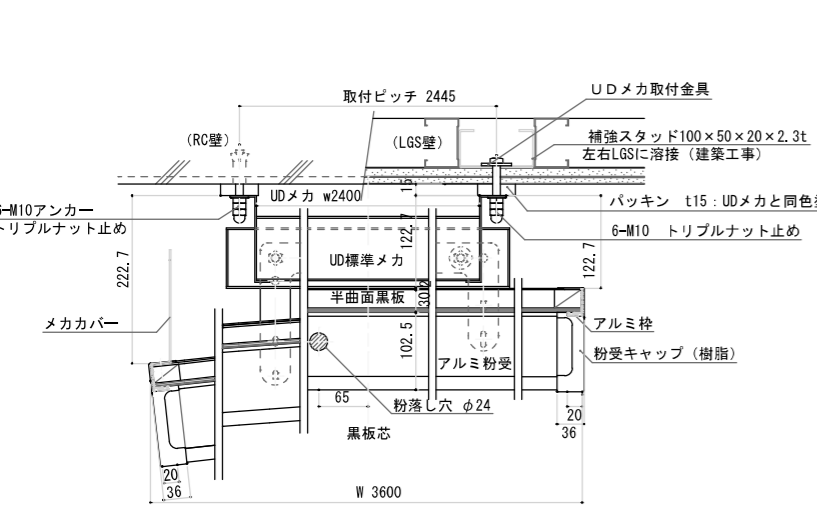
アルミ枠ホーローグリーン暗線入UD半曲面黑板【新設】

1/50、1/30、1/10、1/5

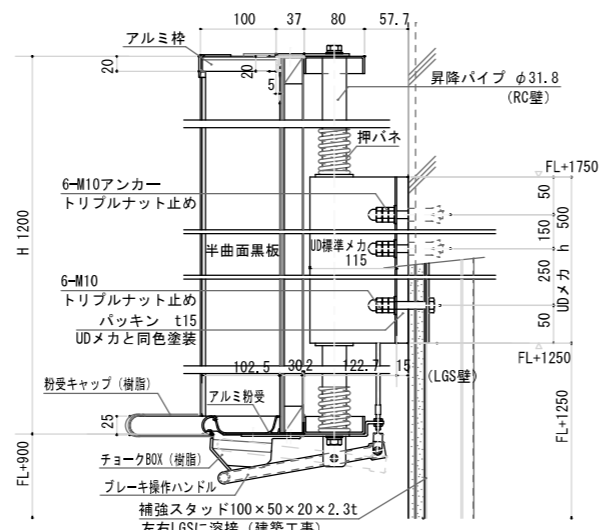
室名	W × H	数量	備考
普通教室 1、2	3,600 × 1,200	2	教室前面側



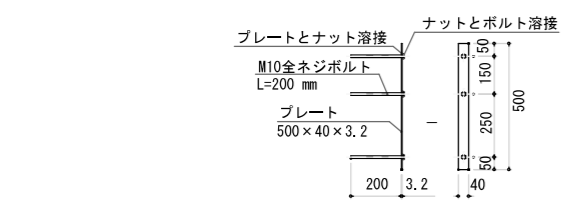
図面 S=1/50



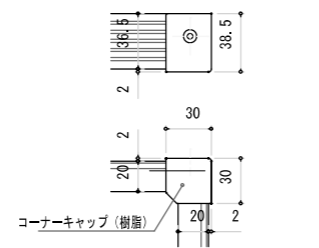
平面詳細図 S=1/10



断面詳細図 S=1/10



UUD下地取付金物 (LGS壁用) S=1/30

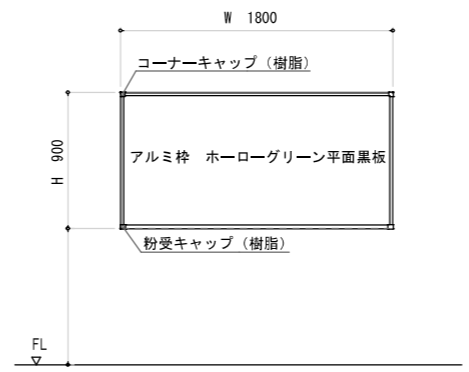


コーナーキャップ 詳細図 S=1/5

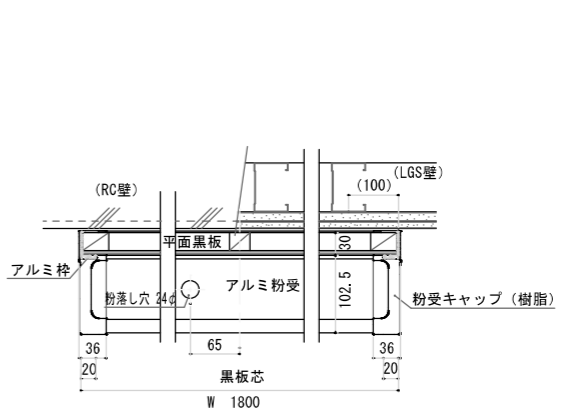
アルミ枠ホーローグリーン平面黑板【新設】

1/50、1/10

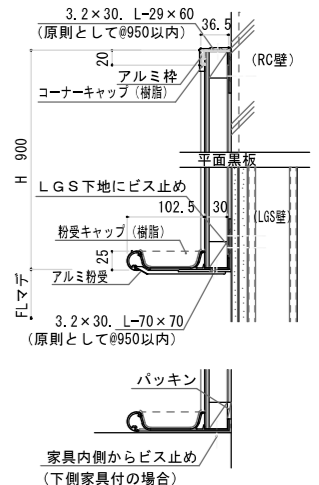
室名	W × H	数量	備考
普通教室 1、2	1,800 × 900	2	教室前面側



図面 S=1/50



平面詳細図 S=1/10

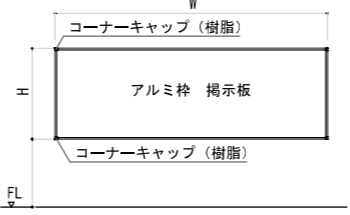


断面詳細図 S=1/10

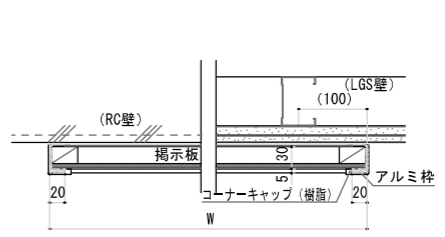
アルミ枠掲示板【新設】

1/10、1/5

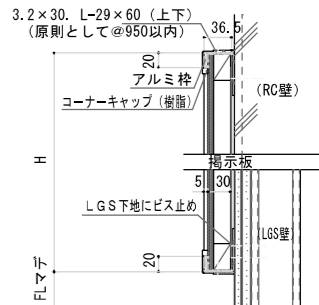
室名	W × H	数量	備考
普通教室 1、2	2,200 × 900	4	教室背面側
普通教室 1、2	1,500 × 1,200	2	教室前面側
普通教室 1	1,200 × 600	1	教室前面側
普通教室 2	1,335 × 600	1	教室前面側



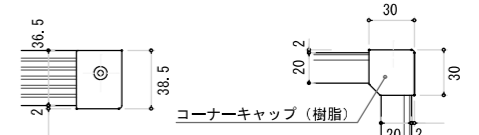
図面



平面詳細図 S=1/10



断面詳細図 S=1/10

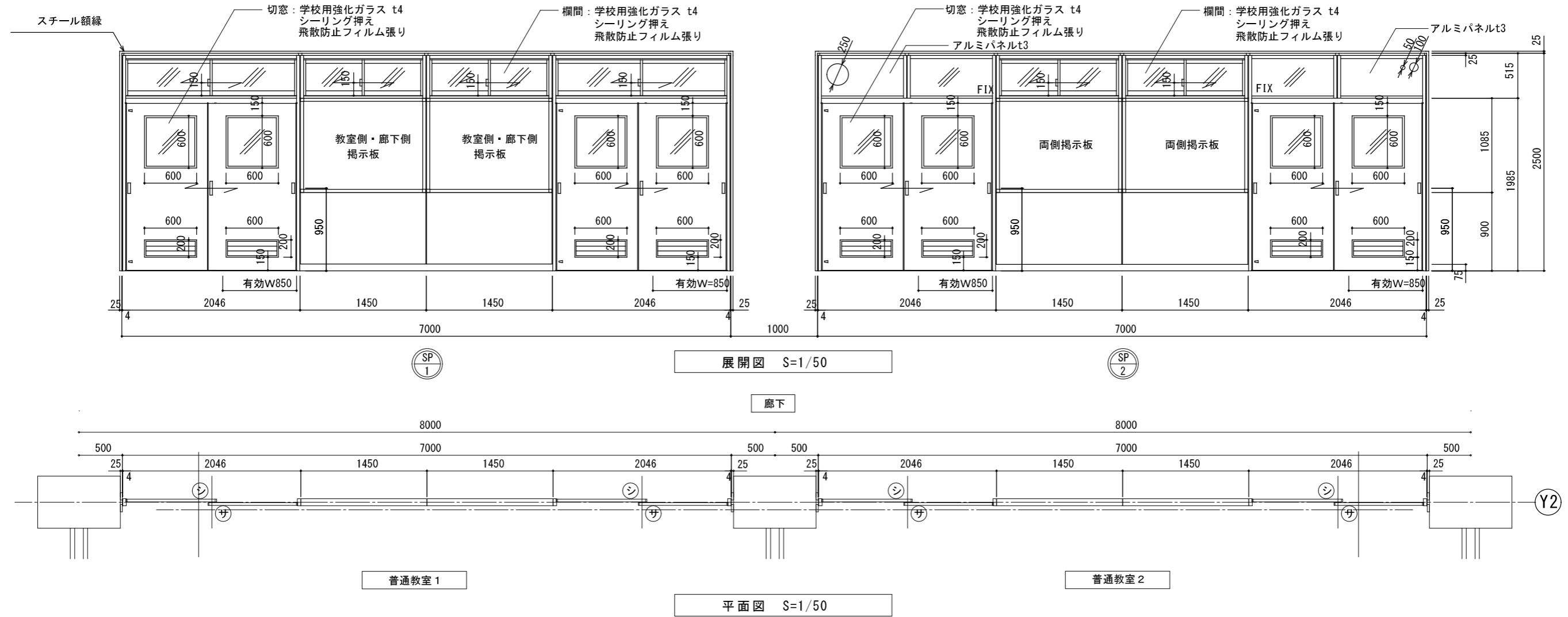


コーナーキャップ 詳細図 S=1/5

黑板・掲示板 共通仕様

1. 黑板・掲示板 : 黑板・掲示板は黑板JIS規格 (JIS S 6007) 認定工場で作成する。
2. 表面材 : 黑板の表面材はホーロー焼付鋼板を使用する。
板面色については色見本を提出の上決定とする。
掲示板の表面材については見本を提出の上決定とする。
3. 粉受 : 黑板消しが横に寝かせた状態で置けるものとする。(有効巾約80mm)
4. 取付 : 取付壁・下地別に施工図を作成し、承認を受けて施工すること。
5. その他 : 品質確保のため、製作はISO 9001取得企業とする。
環境配慮のため、製作はISO 14001取得企業とする。
製作にあたり、事前に製品の品質証明書および材料及び接着の安全データシートを提出し承認を受ける。

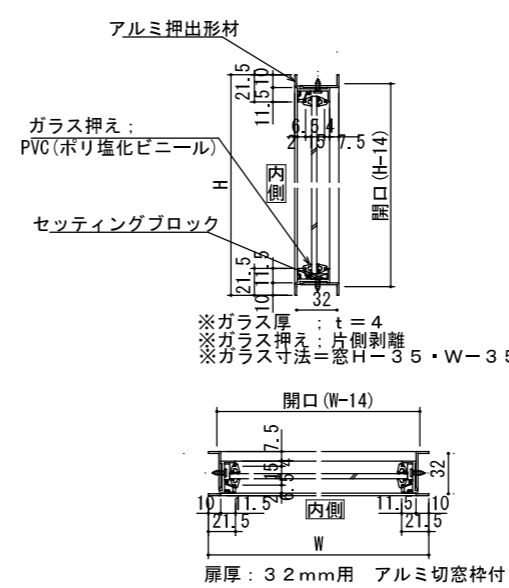
スチールパーティション



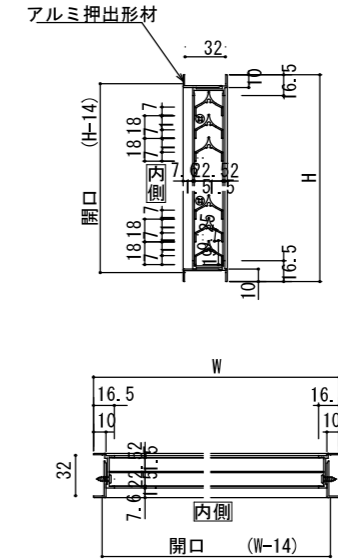
◇仕様表

項目	部材	材料(板厚mm)
骨材	天井レール	亜鉛めっき鋼板 1.0mm <焼付塗装仕上>
	巾木レール	亜鉛めっき鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	上骨SP	亜鉛めっき鋼板 1.0mm
	上骨・下骨	亜鉛めっき鋼板 0.4mm
	受け下棧	アルミ押出型材 <焼付塗装仕上>
	ポール(支柱)・横棧	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	壁面C型ポール	亜鉛めっき鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	枠	サッシ・引戸・ガラス枠
ガラス枠アタッチメント		アルミ押出型材 <焼付塗装仕上>
ドア枠・開口枠		冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
パネル	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード 12.5mm
サッシ	サッシ障子	アルミ押出型材 <アルマイトクリア処理仕上>
	上・下レール	アルミ押出型材 <アルマイト処理仕上>
	サッシU字型ガスケット	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6.8mm <グレー色>
切窓ガラリ	切窓・ガラリ	アルミ押出型材 <焼付塗装仕上>
	ガラス押え	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm <グレー色>

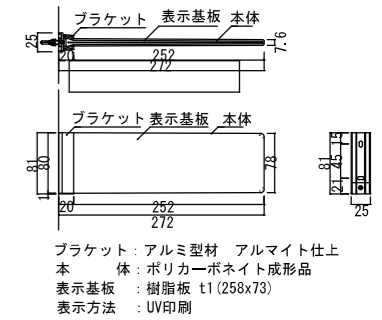
項目	部材	材料(板厚mm)
引き戸	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm <焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	切窓	アルミ押出型材 <焼付塗装仕上>
	切窓ビート	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm <グレー色>
	引戸先ゴム	ポリ塩化ビニル <戸先ゴムブラック色>
引戸下レール	ステンレス	1.2mm <ヘアライン仕上>
	サッシクレーセント	亜鉛ダイキャスト
ロック(引き戸)	ミワロック	SL-99V錠
	ロック(開き戸)	ミワロック LAタイプ
引戸車・サッシ戸車	引戸: 高炭素クロム軸受鋼	サッシ: 樹脂
堀込み引手	ステンレス (W30×H122)	<梨地電解>
額縁取付アングル	アルミ押出型材 <アルマイトクリア処理仕上>	
スチール額縁	亜鉛めっき鋼板1.6t <焼付塗装仕上>	



切窓断面図 S=1/5

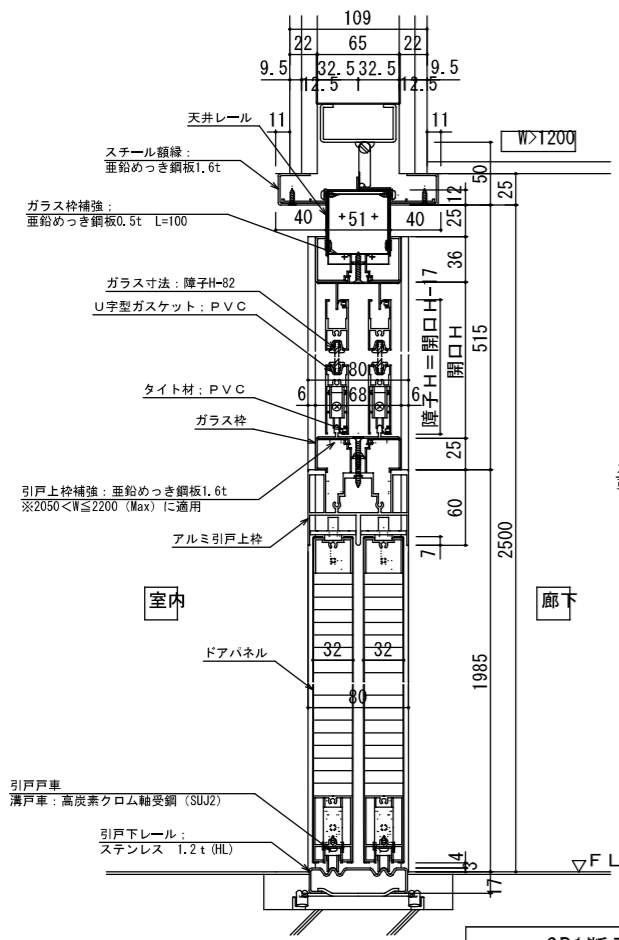


ガラリ断面図 S=1/5

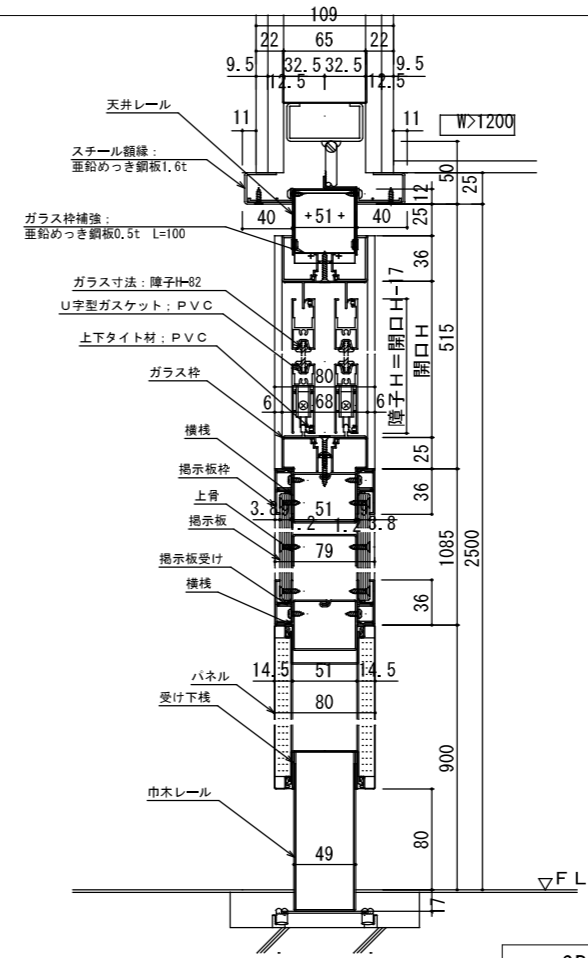
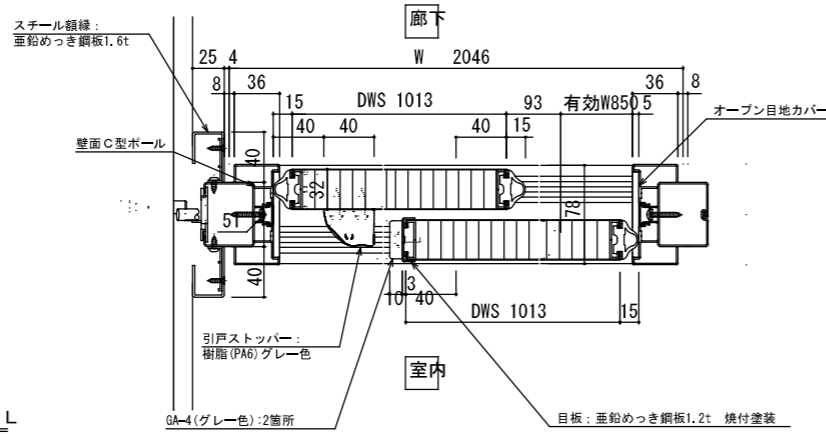
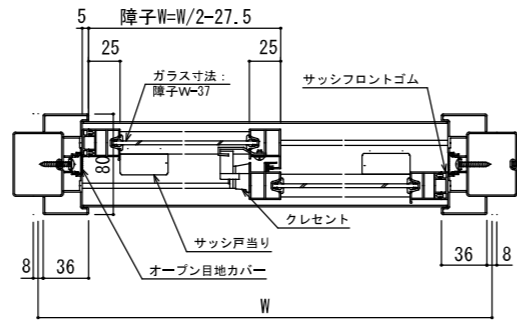


室名札 S=1/10

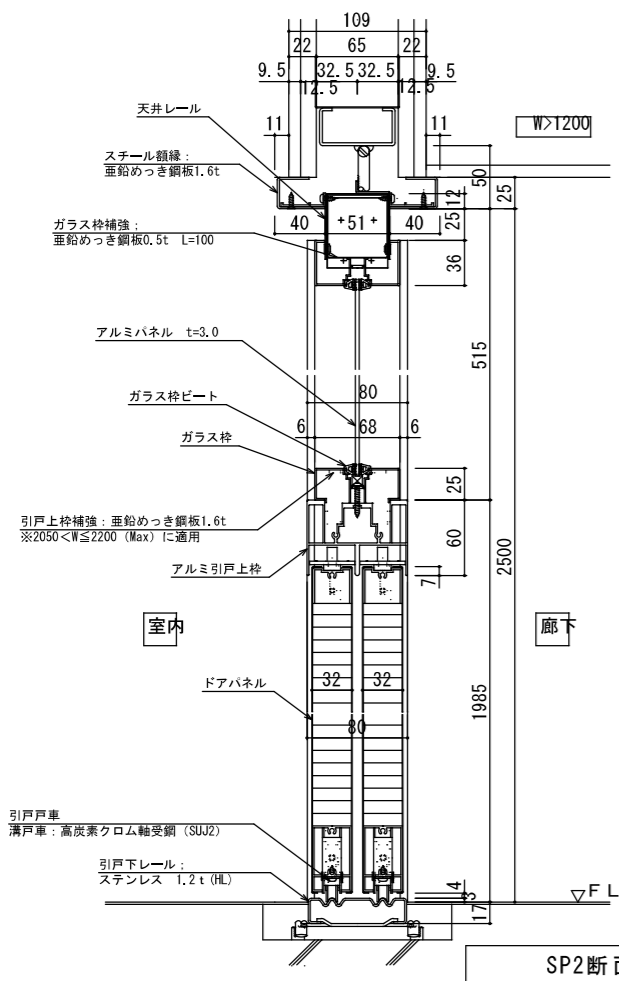
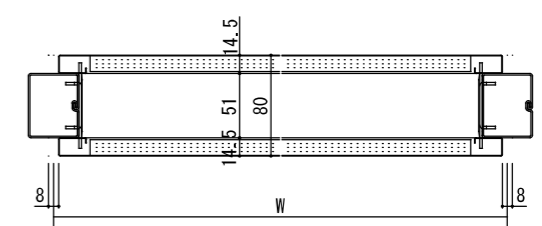
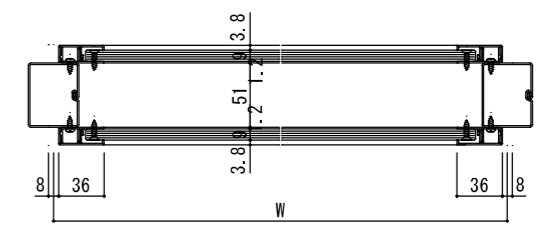
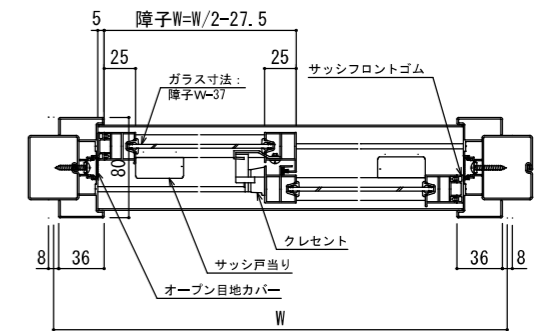
スチールパーティション



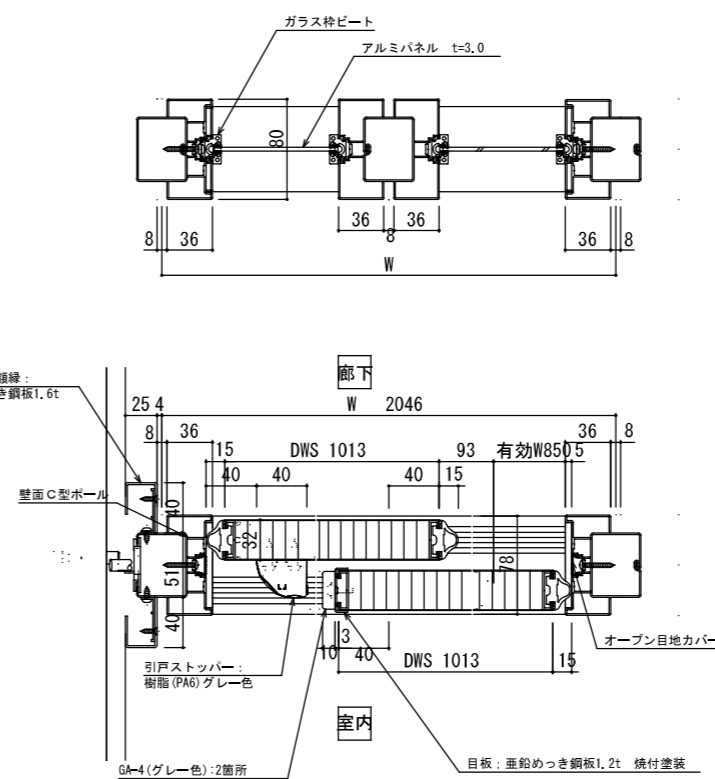
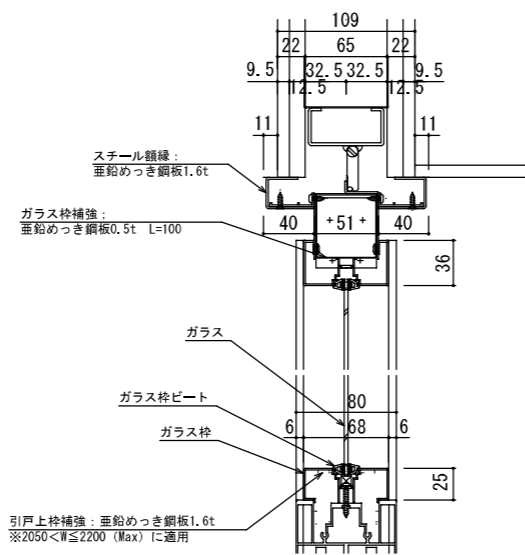
SP1断面図 S=1/6



SP1, SP2 断面図 S=1/6

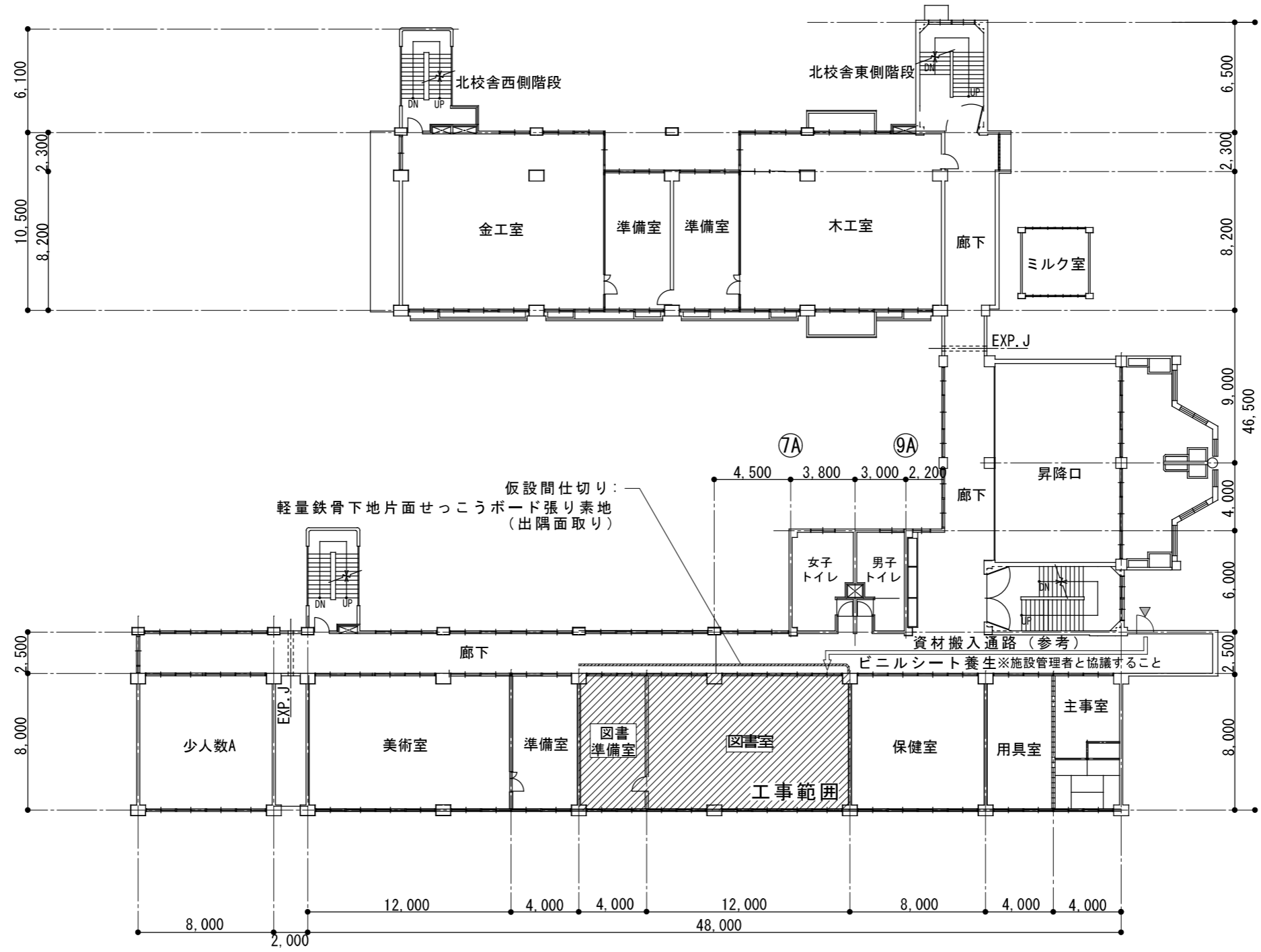


SP2断面図 S=1/6

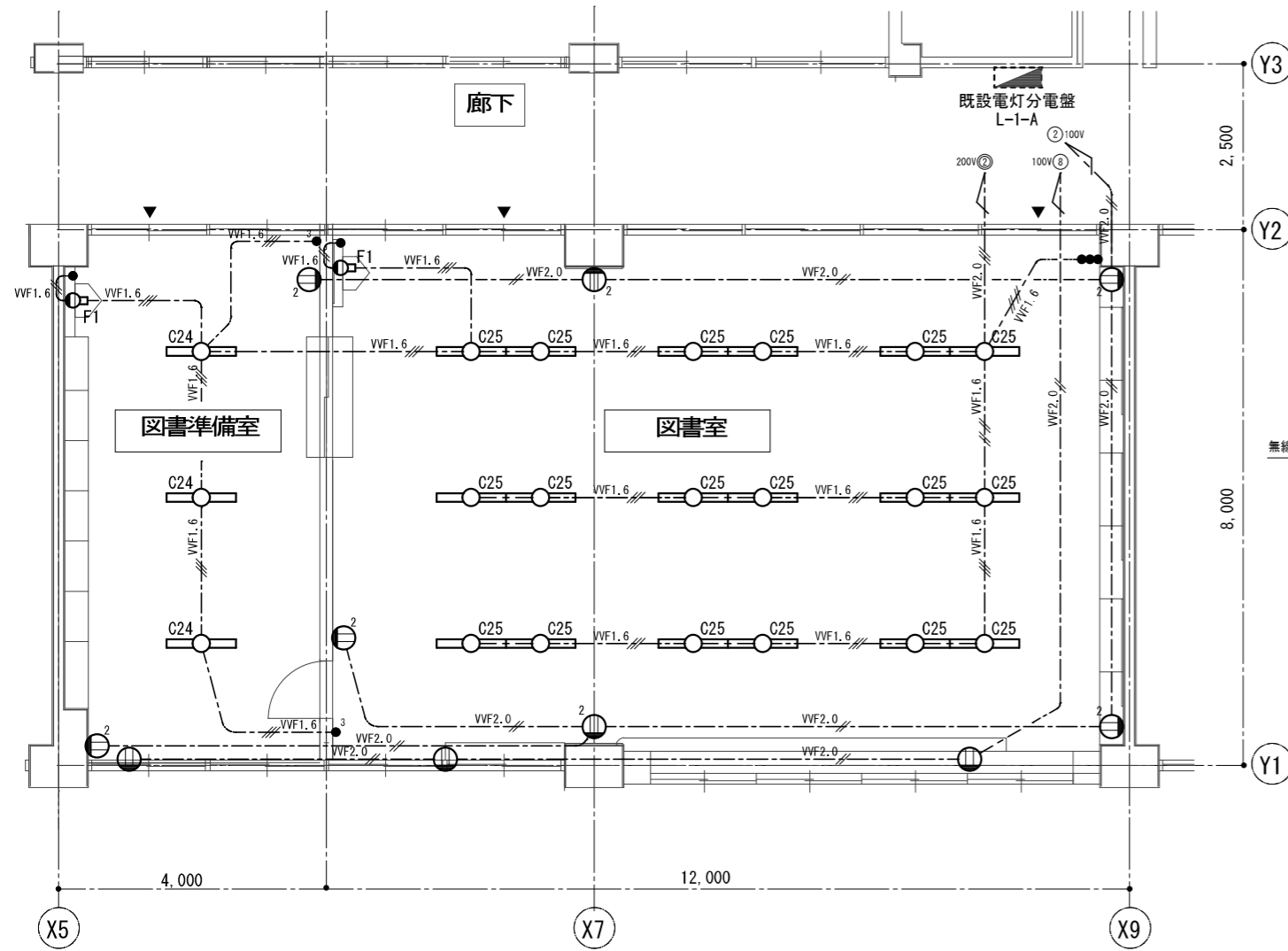


パーティション設置に伴う既存床研りにおいて、カッター入れを行い、モルタル補修を行うこと



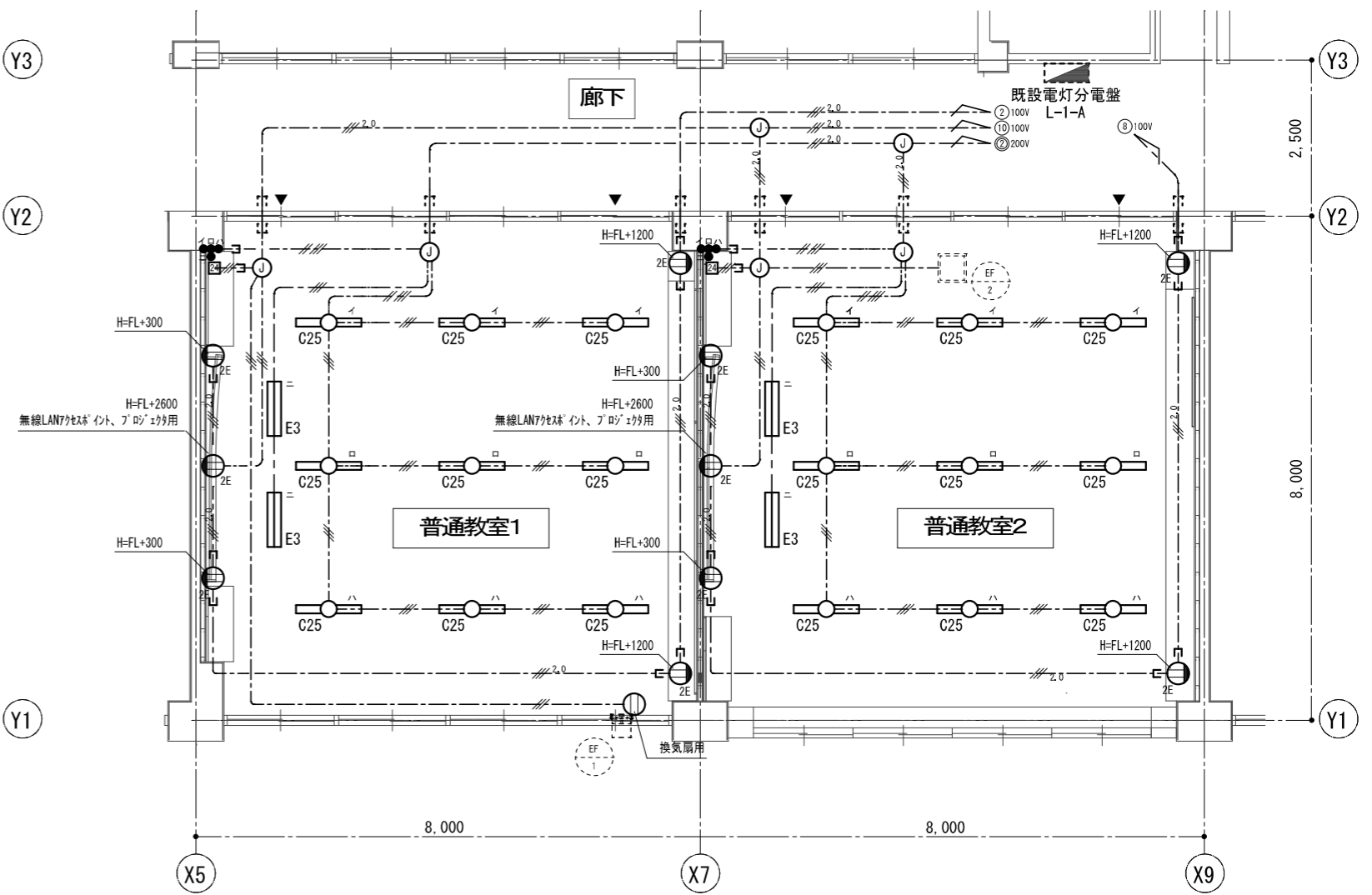


仮設計画図(参考) S=1/300

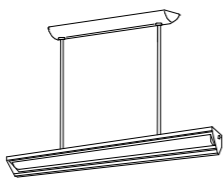




平面図 (改修前) S=1/100

特記なきかざり撤去とする。



平面図 (改修後) S=1/100

C	LED40型直付ベースライト	E	LED黒板灯	F	LEDプラケットライト
C24	幅230mm 4000lmタイプ	E3	幅120mm 2900lm パイプ吊	F1	770lm
C25	幅230mm 5200lmタイプ	 公共施設型番 LSS13-4-29			
 公共施設型番 C24 : LSS10-4-37 C25 : LSS10-4-48					

改修前			
室名	器具	台数	施工内容
図書準備室	C24	3	取外し※
	F1	1	取外し※
図書室	C25	18	取外し
	F1	1	取外し※

改修後			
室名	器具	台数	施工内容
普通教室(1)	C25	9	再取付
	E3	2	新設
普通教室(2)	C25	9	再取付
	E3	2	新設

※取外し後、施設内保管

凡例

記号	名称	仕様	備考
	既設分電盤 L-1-A	屋内銅板埋込型	
	C24 : LSS10-4-37	直付 40形 4000lm	取外(施設内保管)
	C25 : LSS10-4-48	直付 40形 5200lm	取外・再取付
	E2 : LSS13-4-29	直付(黒板灯) 40形 2900lm	新設
	F1 : LSS13-4-29	直付(プラケット) 20形 900lm	取外(施設内保管)
	タンブラスイッチ	埋込 1P15A×1	
	タンブラスイッチ	埋込 1P15A×3	
	24時間換気扇コントロールスイッチ	埋込 入/切、強/弱切替	機械設備工事より支給
	ジャンクションボックス		
	コンセント(壁付)	2P15A×2 (E:接地極付き)	
	コンセント(天井付)	2P15A×1	

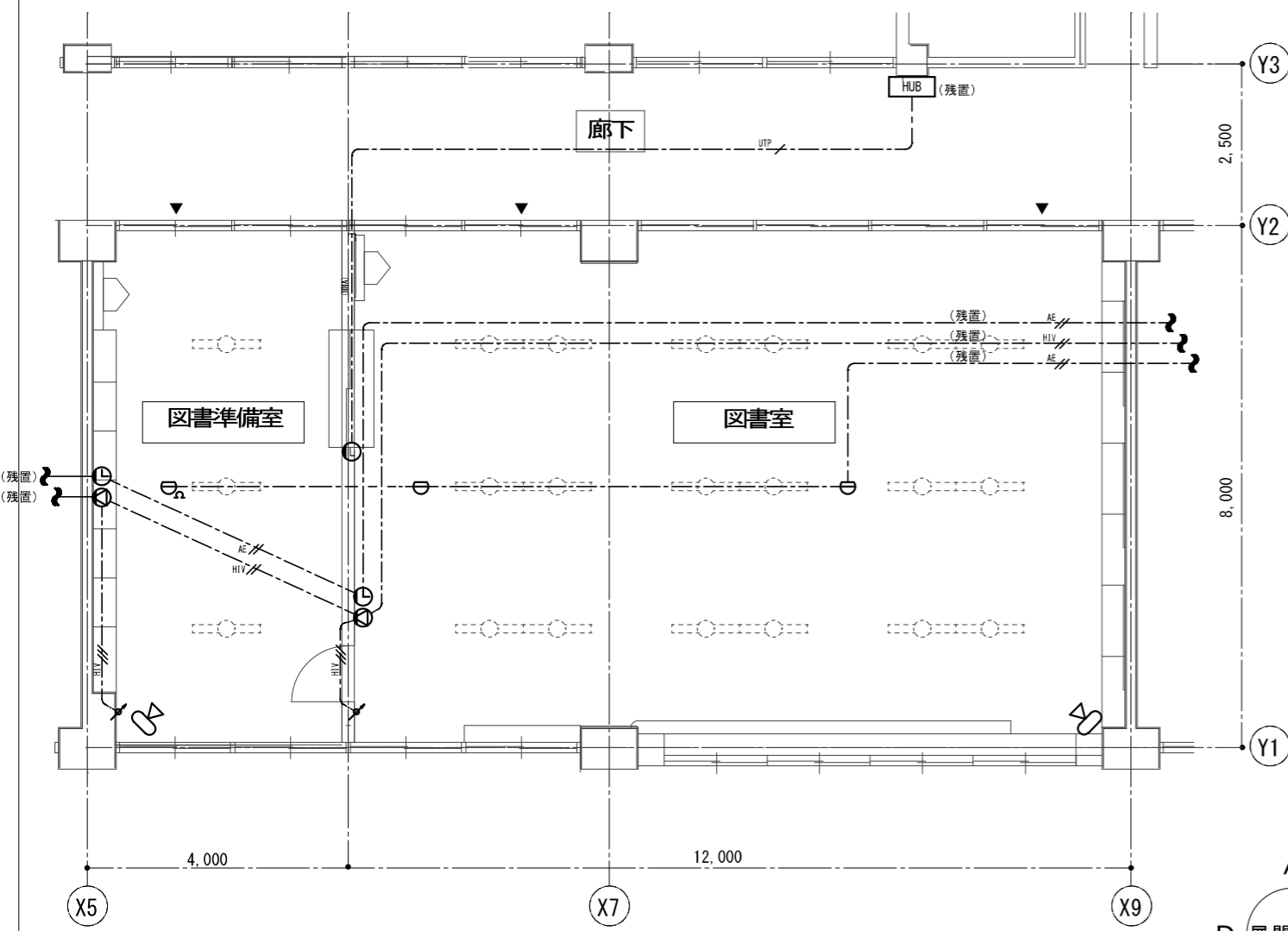
1. 特記なき場合は、下記の通りとする。

	EM-EFF1.6-3C	(二重天井内)ケーブル配線	<保護管 PF22>
	EM-EFF2.0-3C	(二重天井内)ケーブル配線	<保護管 PF22>
	EM-EFF1.6-3C+2C	(二重天井内)ケーブル配線	<保護管 PF28>
二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・立下げ部等はP F管等にて保護。			

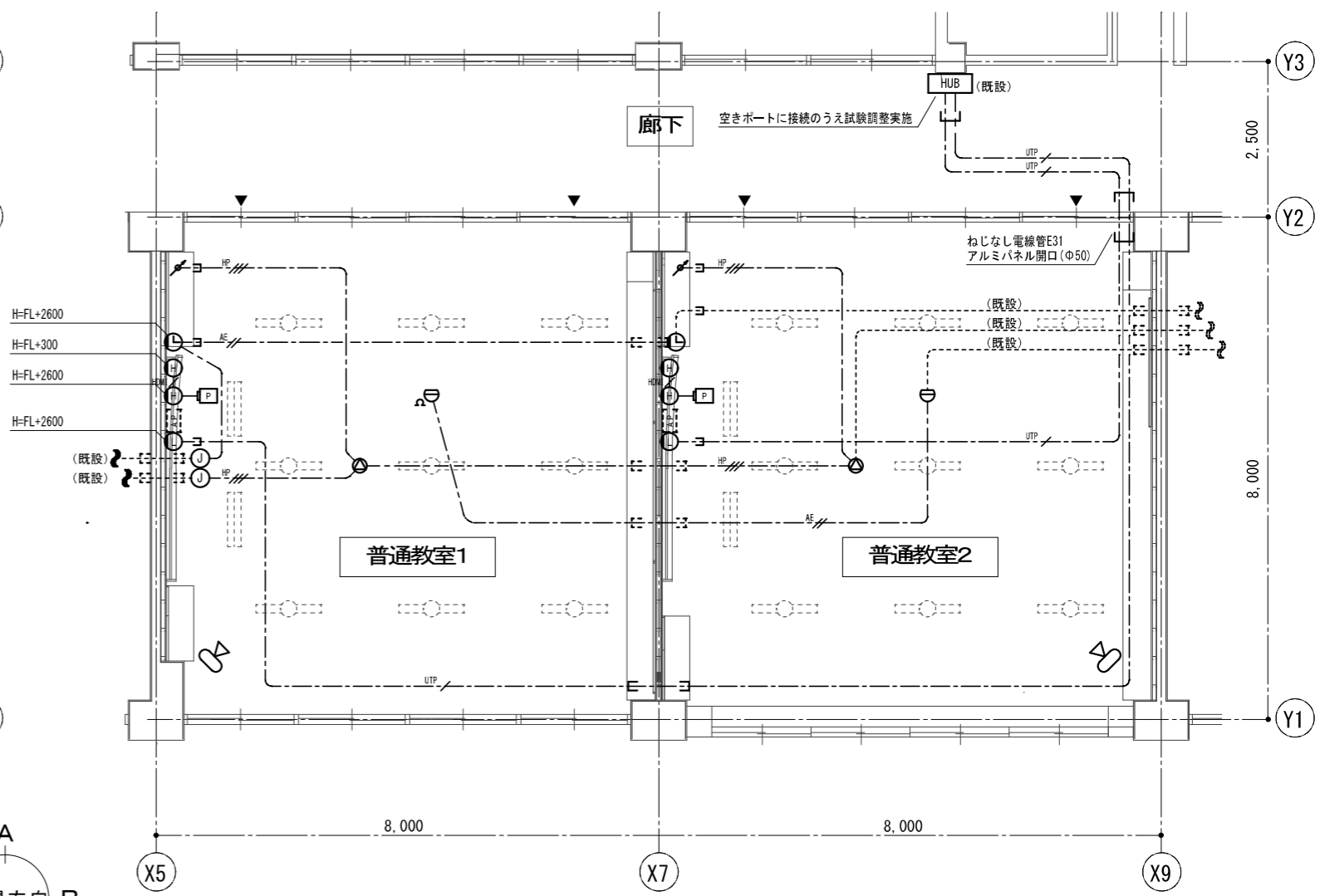
注記

特記なきかざり改修前電気設備は撤去とする。

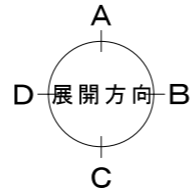
既設配管再使用
配線器具のプレートは新金属製とする。



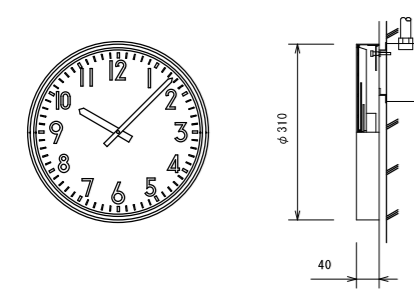
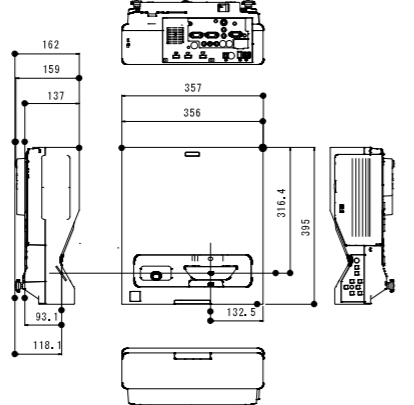
平面図 (改修前) S=1/100
 ※ 特記なきかざり撤去とする。



平面図 (改修後) S=1/100
 ※ 特記なきかざり新設とする。



機器参考姿図

<p>φ310壁掛型時計 (屋内用)</p>  <table border="1"> <tr><td>ケース</td><td>銅板製</td></tr> <tr><td>文字板</td><td>アルミニウム 白色</td></tr> <tr><td>文字</td><td>黒色印刷 (1から12の数字入りとする)</td></tr> <tr><td>指針</td><td>アルミニウム 黒色</td></tr> <tr><td>風防</td><td>ポリカーボネート 透明 t3</td></tr> <tr><td>機体</td><td>DC24V 有極30秒遅針</td></tr> </table> <p>※ワイヤーで落下防止措置をとること。</p>	ケース	銅板製	文字板	アルミニウム 白色	文字	黒色印刷 (1から12の数字入りとする)	指針	アルミニウム 黒色	風防	ポリカーボネート 透明 t3	機体	DC24V 有極30秒遅針	<p>ビデオプロジェクター (壁掛け)</p>  <p>壁掛けプロジェクター 参考姿図ノ仕様</p> <table border="1"> <tr><td>スクリーン解像度</td><td>WXGA</td></tr> <tr><td>方式</td><td>3LCD方式</td></tr> <tr><td>有効光束 (白の明るさ: lm)</td><td>4,100</td></tr> <tr><td>カラー光束 (カラーの明るさ: lm)</td><td>4,100</td></tr> <tr><td>コントラスト</td><td>2,500,000:1</td></tr> <tr><td>液晶パネルサイズ (対角: 型)</td><td>0.59</td></tr> <tr><td>液晶パネル画素数 (横×縦×枚数)</td><td>1280×800×3</td></tr> <tr><td>色再現性</td><td>フルカラー</td></tr> <tr><td>本体サイズ (W×D×H)</td><td>356×395×133</td></tr> <tr><td>質量</td><td>996g</td></tr> <tr><td>投影レンズ</td><td>明るさ: F 1.6</td></tr> <tr><td></td><td>焦点距離: f (mm) 3.7</td></tr> <tr><td></td><td>倍率 1.35</td></tr> <tr><td></td><td>ズーム デジタル</td></tr> <tr><td></td><td>フォーカス 手動</td></tr> <tr><td>光源 出力/種別</td><td>レーザーダイオード</td></tr> <tr><td>動作温度</td><td>0~40</td></tr> <tr><td>電源</td><td>100~240V AC</td></tr> <tr><td></td><td>±10% 50/60Hz</td></tr> <tr><td>消費電力 (W) ノーマル/エコ</td><td>277/208</td></tr> </table>	スクリーン解像度	WXGA	方式	3LCD方式	有効光束 (白の明るさ: lm)	4,100	カラー光束 (カラーの明るさ: lm)	4,100	コントラスト	2,500,000:1	液晶パネルサイズ (対角: 型)	0.59	液晶パネル画素数 (横×縦×枚数)	1280×800×3	色再現性	フルカラー	本体サイズ (W×D×H)	356×395×133	質量	996g	投影レンズ	明るさ: F 1.6		焦点距離: f (mm) 3.7		倍率 1.35		ズーム デジタル		フォーカス 手動	光源 出力/種別	レーザーダイオード	動作温度	0~40	電源	100~240V AC		±10% 50/60Hz	消費電力 (W) ノーマル/エコ	277/208
ケース	銅板製																																																				
文字板	アルミニウム 白色																																																				
文字	黒色印刷 (1から12の数字入りとする)																																																				
指針	アルミニウム 黒色																																																				
風防	ポリカーボネート 透明 t3																																																				
機体	DC24V 有極30秒遅針																																																				
スクリーン解像度	WXGA																																																				
方式	3LCD方式																																																				
有効光束 (白の明るさ: lm)	4,100																																																				
カラー光束 (カラーの明るさ: lm)	4,100																																																				
コントラスト	2,500,000:1																																																				
液晶パネルサイズ (対角: 型)	0.59																																																				
液晶パネル画素数 (横×縦×枚数)	1280×800×3																																																				
色再現性	フルカラー																																																				
本体サイズ (W×D×H)	356×395×133																																																				
質量	996g																																																				
投影レンズ	明るさ: F 1.6																																																				
	焦点距離: f (mm) 3.7																																																				
	倍率 1.35																																																				
	ズーム デジタル																																																				
	フォーカス 手動																																																				
光源 出力/種別	レーザーダイオード																																																				
動作温度	0~40																																																				
電源	100~240V AC																																																				
	±10% 50/60Hz																																																				
消費電力 (W) ノーマル/エコ	277/208																																																				

凡例

記号	名称	備考
Ⓛ	LAN用コネクタ	壁付
Ⓜ	HDMI用コネクタ	壁付
Ⓢ	天井スピーカー	埋込/金属製ハコ/3W/丸形
Ⓝ	アッテネーター	壁付
Ⓚ	壁掛型時計	(参考姿図参照)
Ⓣ	差動式スポット型感知器	2種
Ⓟ	終端抵抗	
Ⓟ	ビデオプロジェクター	(参考姿図参照)
Ⓜ	無線LAN7ヶ所ポイント	(別工事)
Ⓝ	空間センサー (機械警備)	脱着
Ⓜ	ジャンクションボックス	
---	ころがし配線	天井ころがし
---	配管配線	天井隠ぺい

1. 特記なき場合は、下記の通りとする。

---	EM-AE0.9-2C (二重天井内コトシ配線) <保護管 PF16>
---	EM-HP1.2-3C (二重天井内コトシ配線) <保護管 PF16>
---	EM-UTP (cat6)0.5-4P (二重天井内コトシ配線) <保護管 PF16>
---	HDMIケーブル (二重天井内コトシ配線) <保護管 PF22>

二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・立下げ部等はP F管等にて保護。

注記

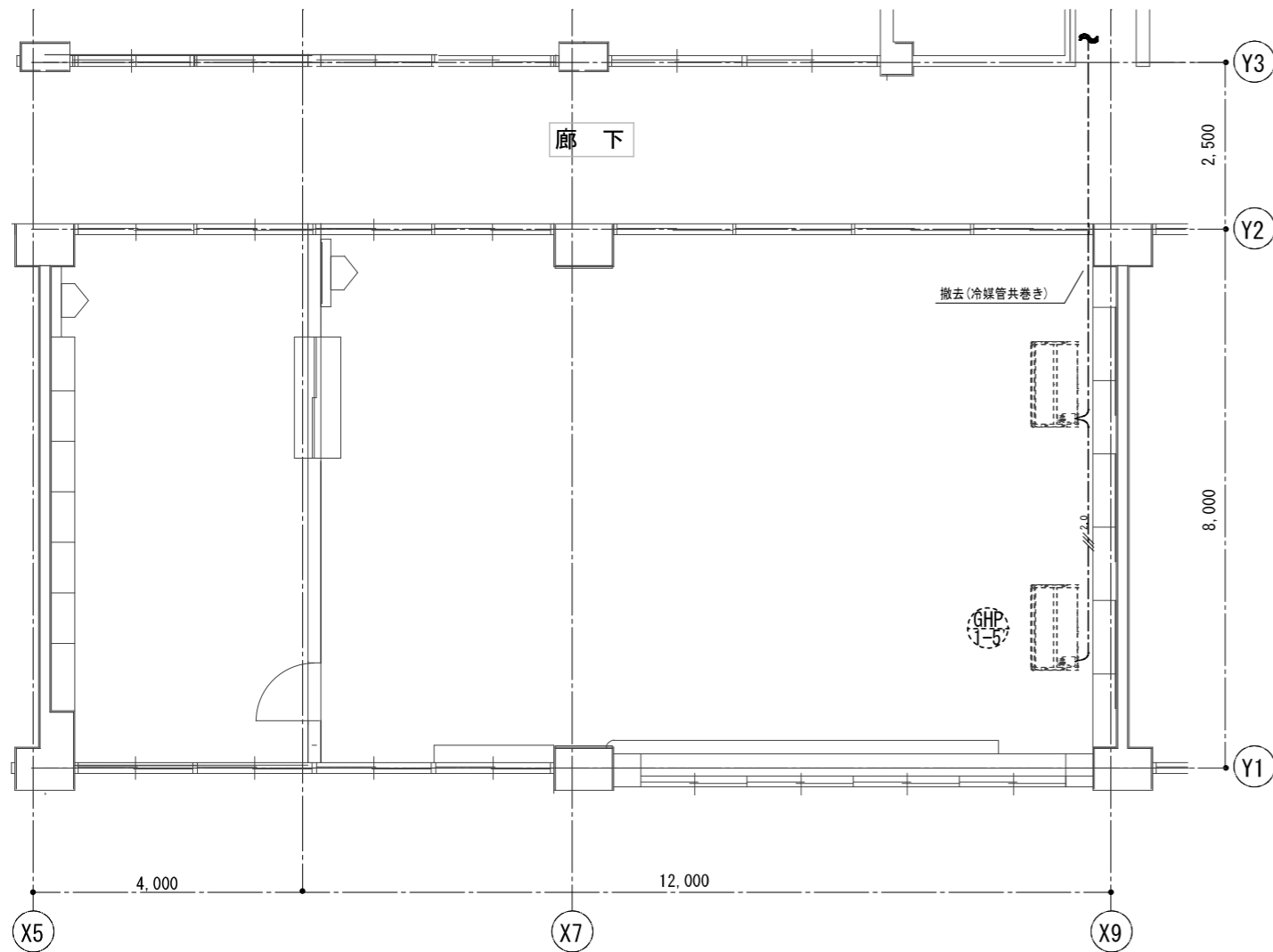
特記なきかざり改修前電気設備は撤去とする。

--- 既設配管再使用

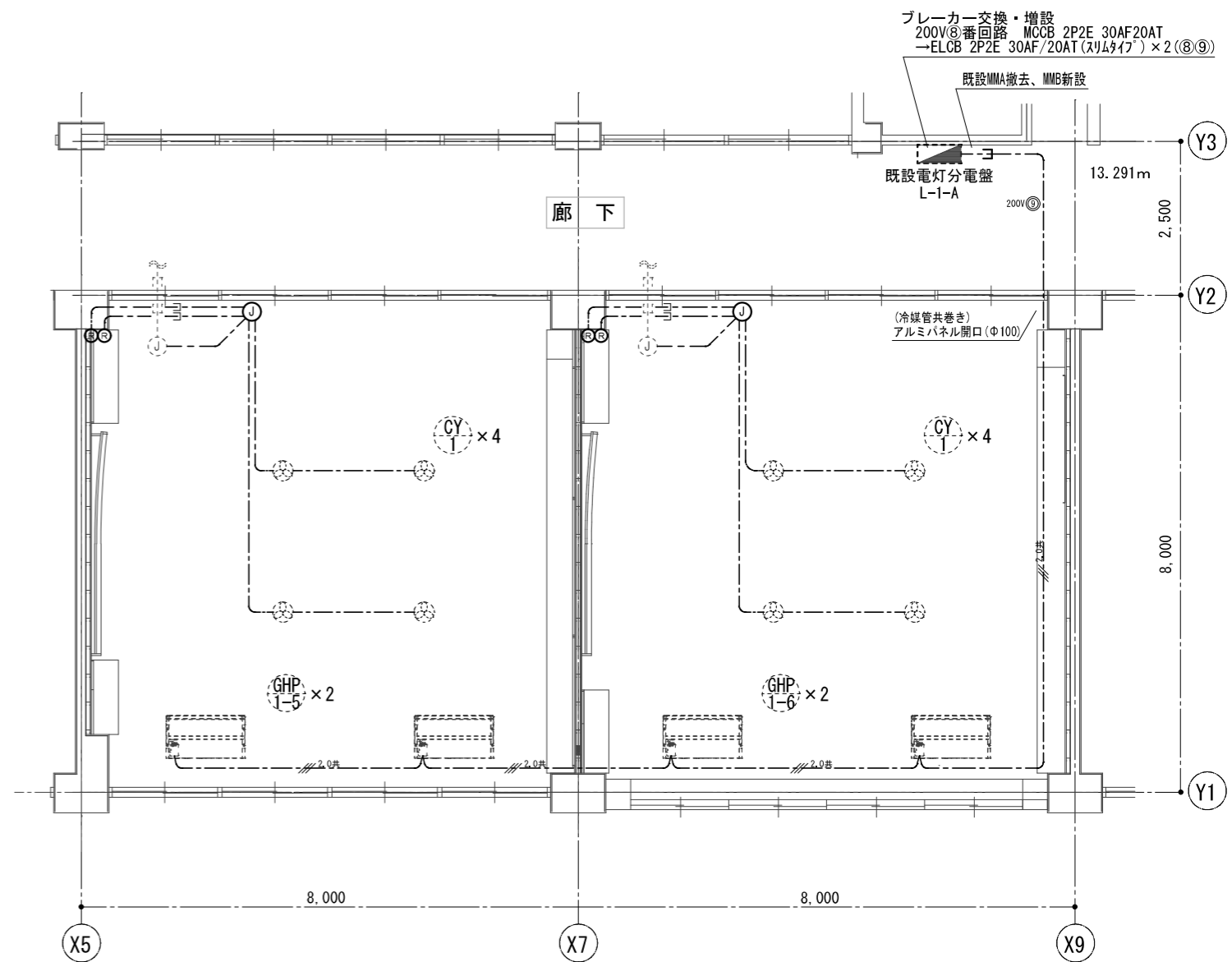
--- 電線管 (ねじなし電線管E31) にて保護。

配線器具のプレートは新金属製とする。

機械警備設備は機械警備業者の責任施工とする。(費用は受注者の負担とする。)



平面図 (改修前) S=1/100



平面図 (改修後) S=1/100

凡例

記号	名称	仕様	備考
Ⓜ	サイクル扇コントローラスイッチ	2台用	機械設備工事より支給
Ⓝ	ジャンクションボックス		
Ⓢ	サイクル扇		機械設備工事

1. 特記なき場合は、下記の通りとする。

---	EM-EEF1.6-2C	(二重天井内) 配線	<保護管 PF22>
---	EM-EEF2.0-3C	(二重天井内) 配線	<保護管 PF22>
---	EM-EEF2.0-3C	(冷媒管共巻き)	

二重天井内はケーブル工事とし、立上げ・立下げ部等はP F管等にて保護。

注記

- 特記なき限り改修前電気設備は撤去とする。
- 防火貫通部分は電線管(ねじなし電線管E31)にて保護。
- 空調室内機電源ケーブルは冷媒管共巻きとする。



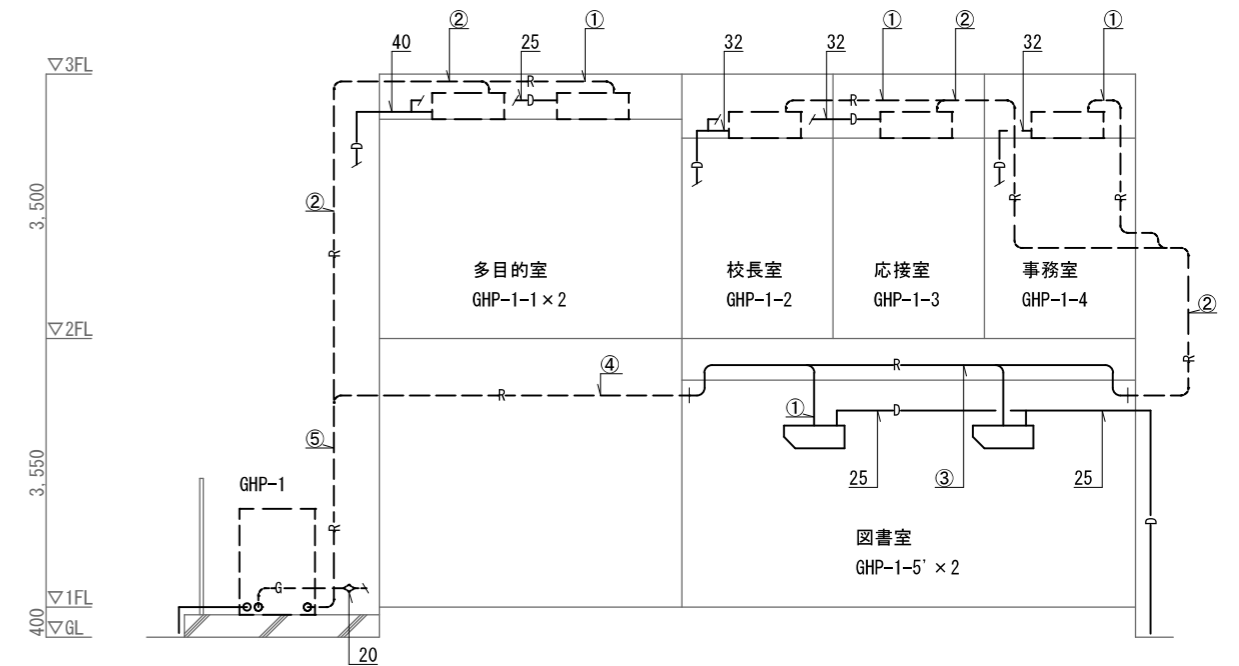
機器表（撤去）

記号	名称	仕様	電気	台数	備考
GHP-1-5' 撤去	ガスヒートポンプ式空調機 室内機	天井吊形 冷房 11.2kW/暖房 12.5kW ワイヤードリモコン(1個)	単相 200V	2	1階図書室 AXHP112NA(アイシン製)

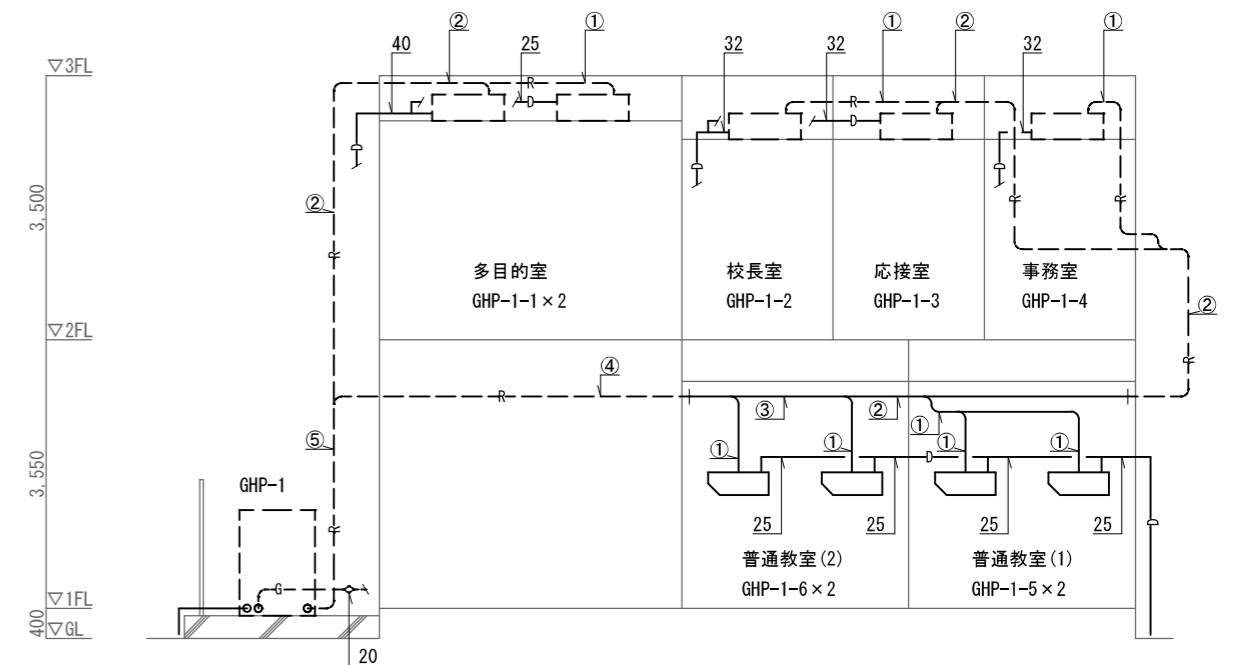
機器表（新設）

記号	名称	仕様	電気	台数	備考
GHP-1 既設再使用	ガスヒートポンプ式空調機 室外機	リニュー-7L対応機、臭気低減機能付 空調能力：冷房 85.0kW/暖房 95.0kW ガス消費量：冷房 74.1kW/暖房 65.6kW 冷媒種別：R410A	三相 200V	1	屋外 AWYGP850G2ZD(アイシン製)
GHP-1-1 既設再使用	ガスヒートポンプ式空調機 室内機	天井埋込カセット形(4方向) 冷房 14.0kW/暖房 16.0kW ワイヤードリモコン(1個)	単相 200V	2	2階多目的室 AXFP140NA(アイシン製)
GHP-1-2 GHP-1-3 GHP-1-4 既設再使用	ガスヒートポンプ式空調機 室内機	天井埋込カセット形(4方向) 冷房 9.0kW/暖房 10.0kW ワイヤードリモコン(各1個)	単相 200V	3	2階校長室・応接室 2階事務室 AXFP90NA(アイシン製)
GHP-1-5 GHP-1-6 新設	ガスヒートポンプ式空調機 室内機	天井吊形 冷房 7.1kW/暖房 8.0kW ワイヤードリモコン(各1個)	単相 200V 消費電力： 冷房 0.112kw 暖房 0.112kw	4	1階普通教室(1) 1階普通教室(2)
CF-1 新設	扇風機	羽径：30cm 風量：2780m ³ /h コントロールスイッチ(2台に1個)	単相 100V 消費電力：30W	8	1階普通教室(1) 1階普通教室(2)
EF-1 新設	壁付換気扇	窓枠据付格子タイプ 24時間換気機能付 羽径：25cm 有効換気量：805m ³ /h(強ノッチ) ケージカバー(SUS製) 防鳥網(SUS製) コントロールスイッチ	単相 100V 消費電力：32W	1	1階普通教室(1)
EF-2 新設	天井換気扇	低騒音形 インテリア格子タイプ 静圧：50Pa 有効換気量：704m ³ /h(強ノッチ) ダクト径：φ200 バンドキャップ(SUS制) コントロールスイッチ	単相 100V 消費電力：80W	1	1階普通教室(2)

※ 消費電力は参考とする。



系統図（撤去） NOSCALE

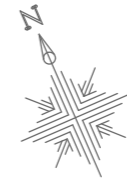
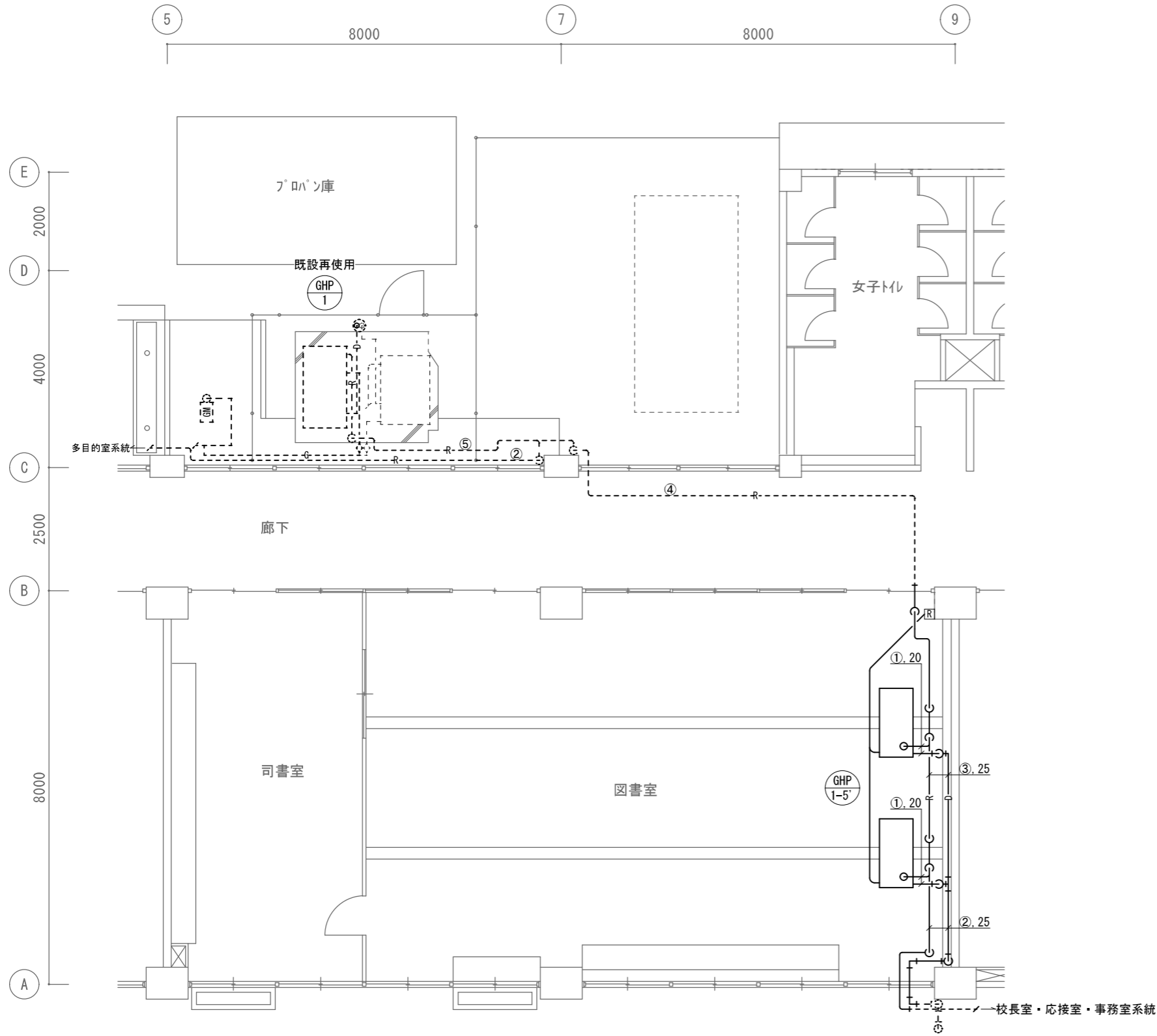


系統図（新設） NOSCALE

冷媒管口径

記号	口径
①	9.52φ, 15.88φ
②	9.52φ, 22.22φ
③	12.70φ, 28.58φ
④	15.88φ, 28.58φ
⑤	15.88φ, 31.75φ





冷媒管口径

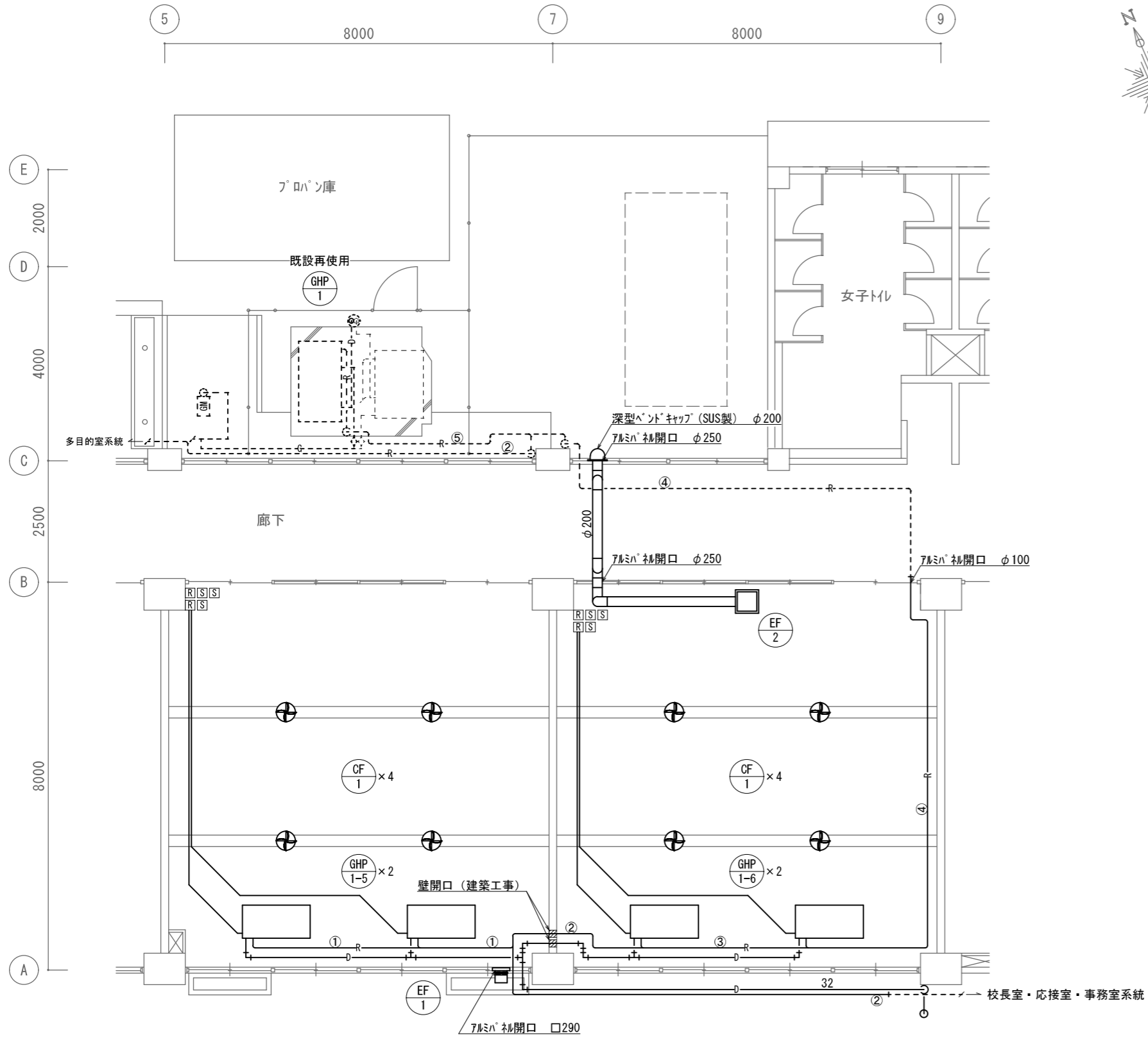
記号	口径
①	9.52φ, 15.88φ
②	9.52φ, 22.22φ
③	12.70φ, 28.58φ
④	15.88φ, 28.58φ
⑤	15.88φ, 31.75φ

凡例

記号	名称	仕様	備考
—R—	冷媒管	冷媒用被覆銅管	
—D—	ドレン管	硬質塩化ビニル管 (VP)	
[R]	リモコン	機器付属品	
—G—	ガス管	カラー鋼管	
[GM]	ガスメーカー	東京ガス指定品	
-----	既設管	上記に準じる	既設再使用部
—	通信線 (天井内)	EM-電力ケーブル	

※ 冷媒管は、EM-EEF2.0-3C, EM-CEE1.25□-20を共巻とする。

1階空調設備平面図(撤去) S=1/100



冷媒管口径

記号	口径
①	9.52φ, 15.88φ
②	9.52φ, 22.22φ
③	12.70φ, 28.58φ
④	15.88φ, 28.58φ
⑤	15.88φ, 31.75φ

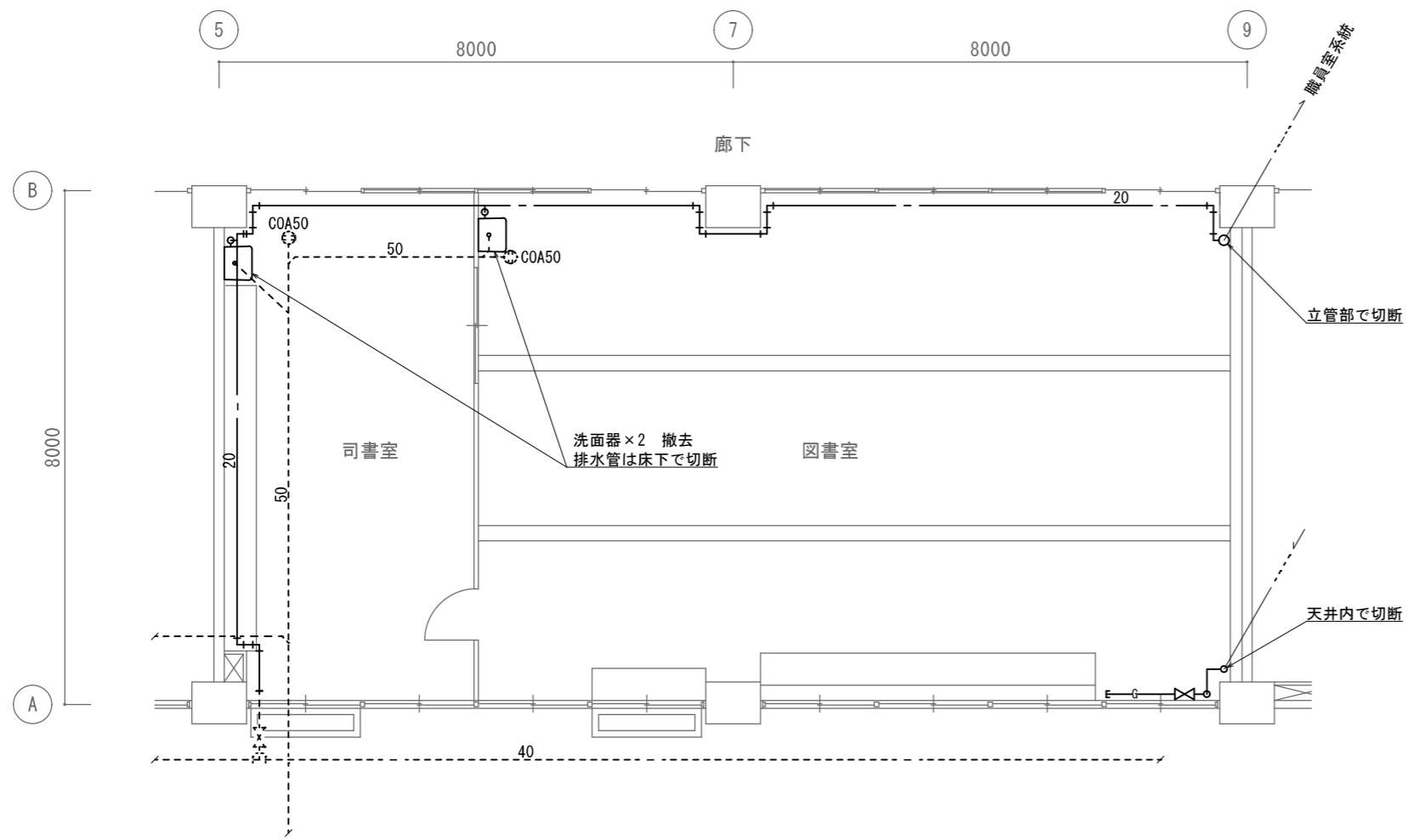
凡例

記号	名称	仕様	備考
—R—	冷媒管	冷媒用被覆銅管	
—D—	ドレン管	硬質塩化ビニル管 (VP)	
—G—	ガス管	カラ鋼管	
—GM—	ガスメーター	東京ガス指定品	
---	既設管	上記に準じる	既設再使用部
—	通信線 (天井内)	EM-電力ケーブル	EM-CEE1.25□-2C

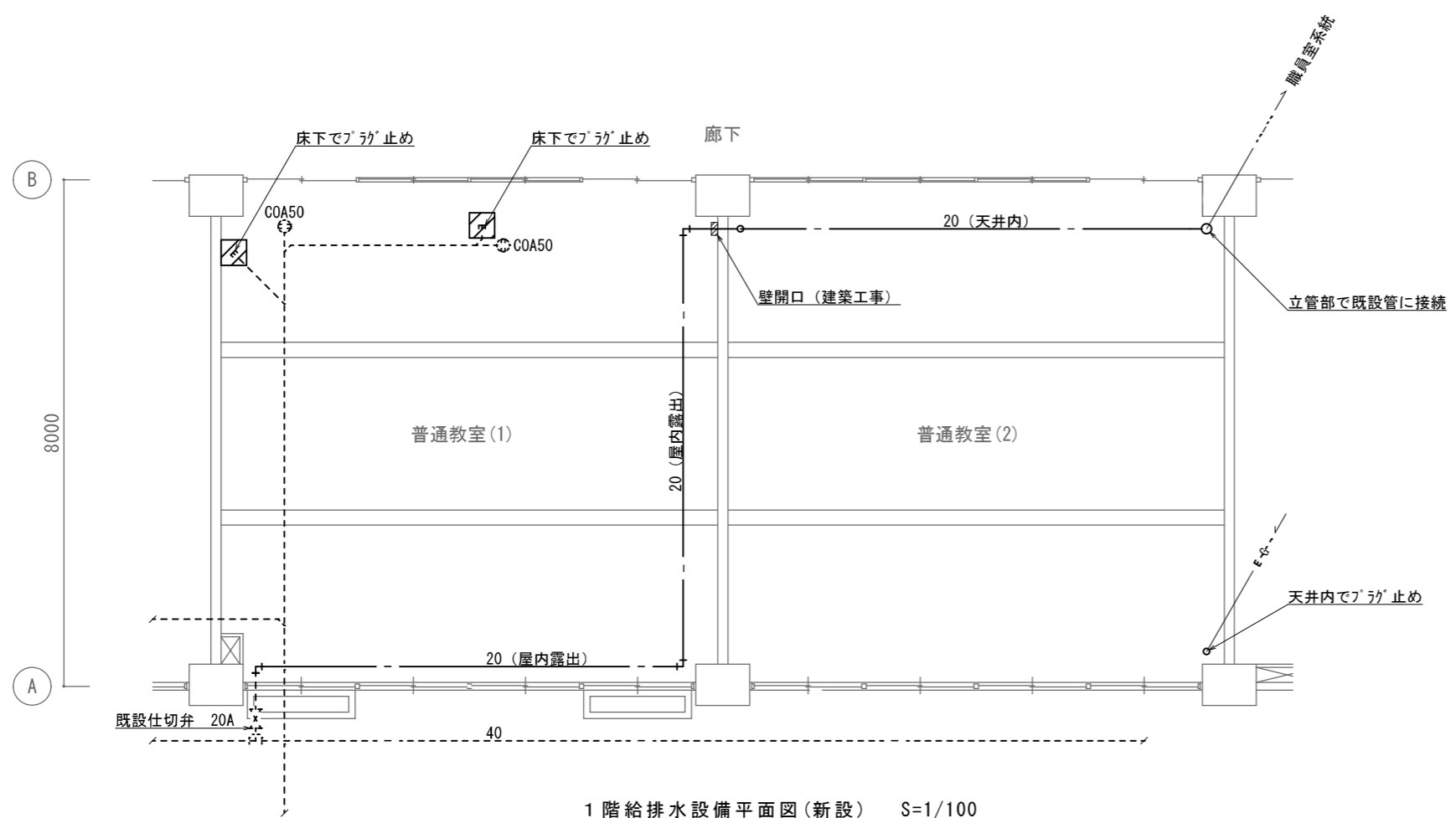
- ※ 冷媒管は、EM-EEF2.0-3C、EM-CEE1.25□-2Cを共巻とする。
- ※ 屋外冷媒配管は、ステンレスラッキング仕上げとする。
- ※ 通信線は天井内コガシとし、リモコン及びコントロールスイッチの立下り部は第一種金属線ぴとする。
- ※ サイクル扇及び換気扇の電源線及び通信線は、電気設備工事とする。

1階空調設備平面図 (新設) S=1/100

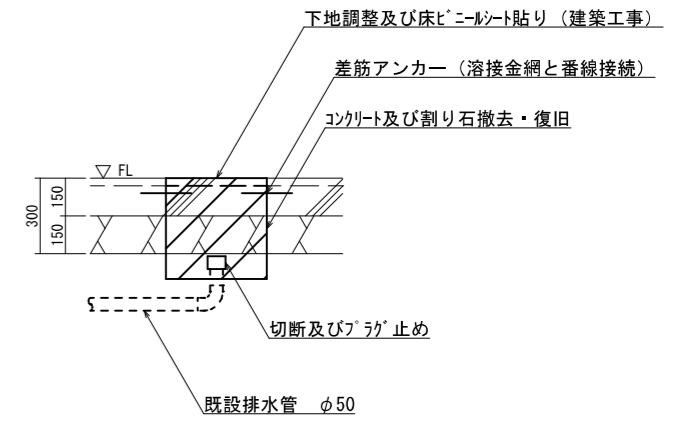
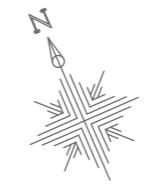




1階給排水設備平面図(撤去) S=1/100



1階給排水設備平面図(新設) S=1/100



排水管プラグ止め詳細図 NOSCALE

凡例

記号	名称	仕様	備考
———	給水管	硬質塩化ビニル管(VB)	直結給水系統
———	排水管	硬質塩化ビニル管(VP)	
—G—	ガス管	カー鋼管	
- - - - -	既設配管	上記に準じる	